

2020年度(第3回)

# SDGsに関する全学アンケート調査

Survey on Sustainable Development Goals (SDGs)



法政大学  
HOSEI University



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS



ALS

# アンケート調査の概要

調査名	SDGsに関する全学アンケート調査
調査目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 法政大学の学生・教員・職員のSDGsの認知度の把握と向上</li><li>・ 法政大学におけるSDGs達成に向けた取組の発信</li><li>・ 法政大学におけるESDの推進</li></ul>
実施主体	総長室付教学企画室
調査期間	2020年11月30日（月）～2021年1月29日（金）
調査対象	法政大学に所属する全学生・教員・職員
配布数	学生：28,245名、教員：773名、職員：453名、計：29,471名
回収数	学生：256名、教員：147名、職員：142名、計：545名
回収率	学生：0.9%、教員：19%、職員：31.3%、計：1.8%
調査方法	WEBアンケート（Google Form）

# アンケート調査の質問項目

## 0. 過去アンケートの回答有無

### 1. SDGsの認知度および関心度に関する質問

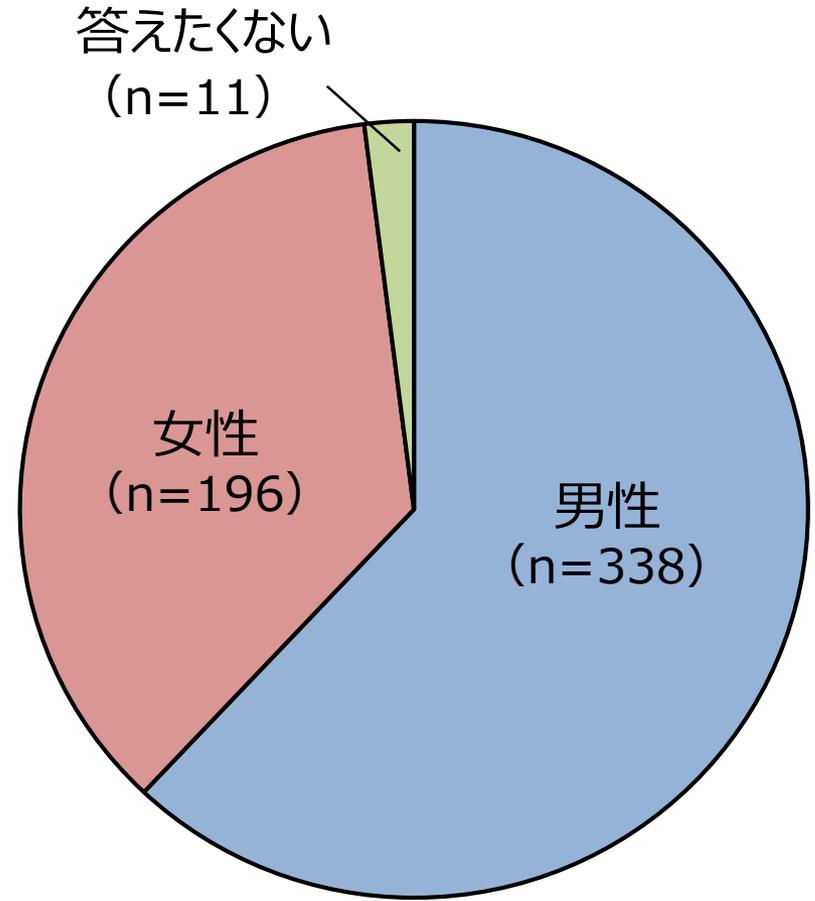
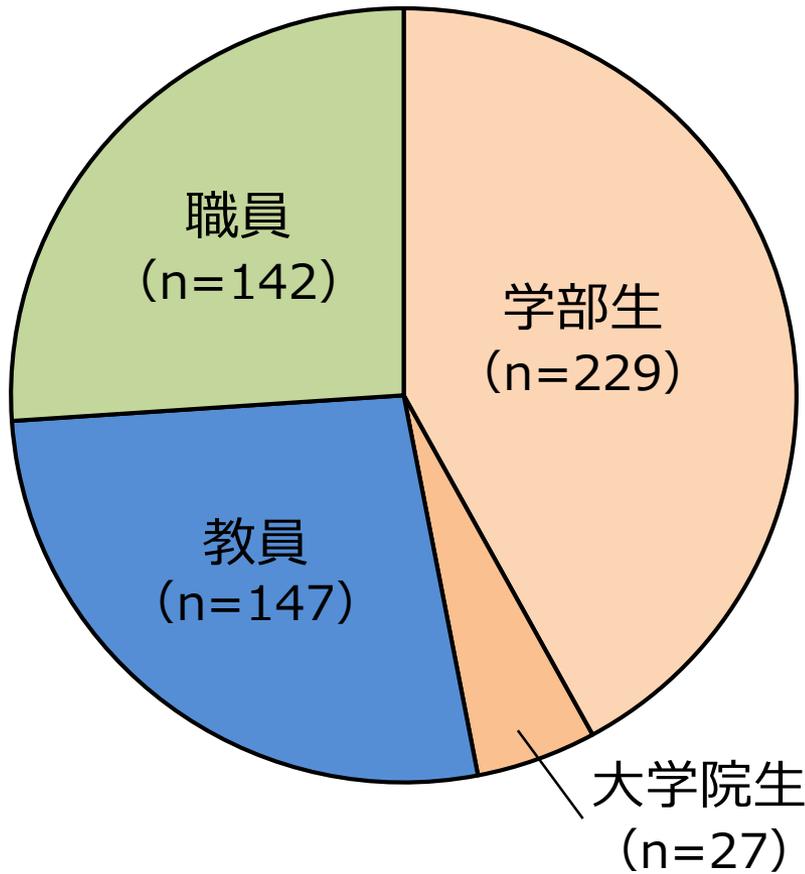
- |                |                           |
|----------------|---------------------------|
| 1-1. SDGsの認知度  | 1-4. SDGsの実施主体に関する認識      |
| 1-2. SDGsの認知手段 | 1-5. 新型コロナウイルスがSDGsに与える影響 |
| 1-3. SDGsの関心度  |                           |

### 2. 法政大学の取り組みの認知度に関する質問

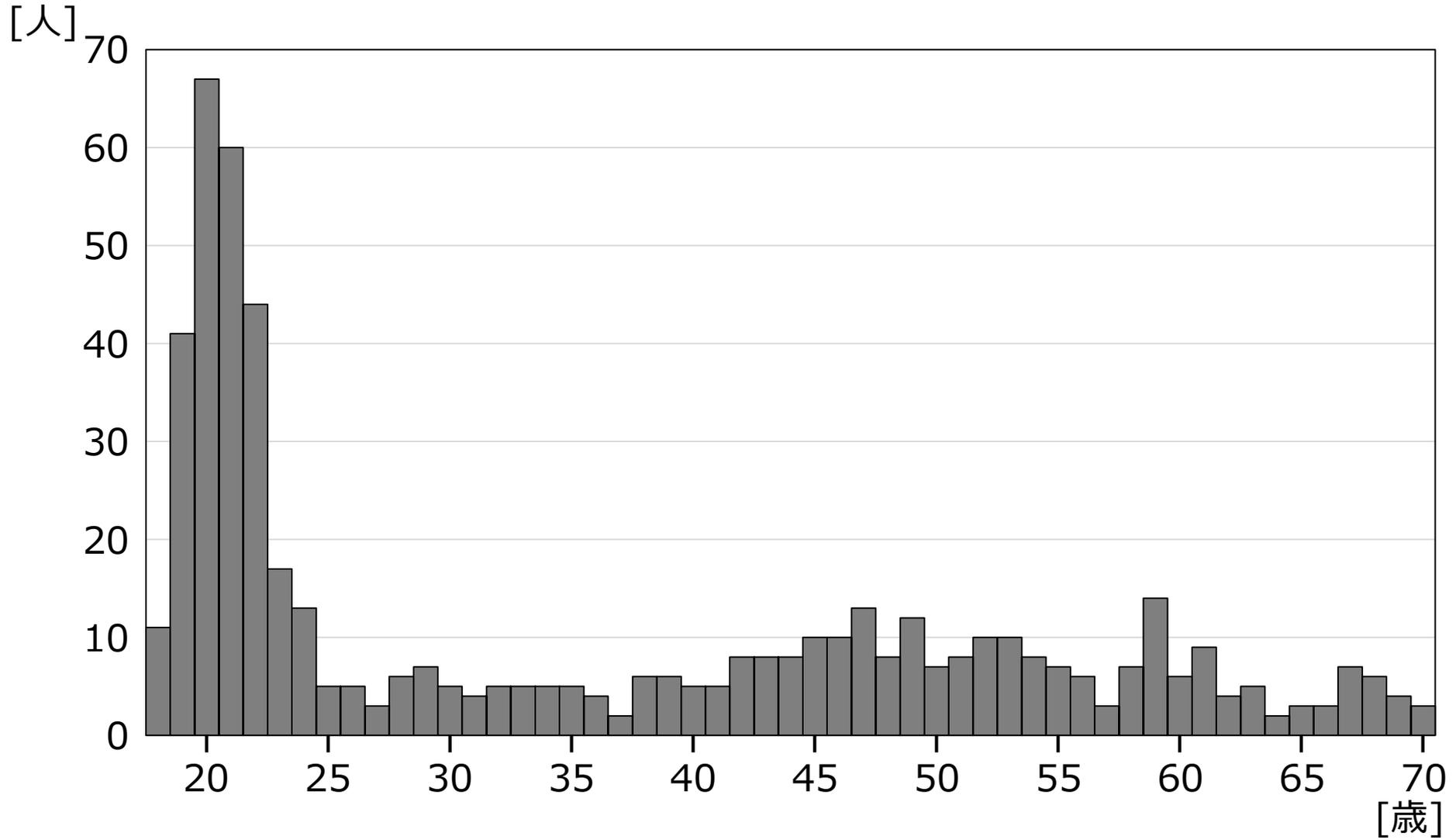
- 2-1. 法政大学が「スーパーグローバル大学」に選定されていることに関する認知度
- 2-2. 2030年に創立150周年を迎えることに関する認知度
- 2-3. 法政大学が掲げる長期ビジョン「HOSEI2030」に関する認知度
- 2-4. 法政大学総長による「SDGsステートメント」に関する認知度
- 2-5. 法政大学が2020年度に掲げた「SDGs+プロジェクト 2030アジェンダ」に関する認知度
- 2-6. 2019年度より設定・展開する「SDGs科目群」に関する認知度
- 2-7. 2019年度より実施するSDGsイベント「SDGs WEEK」に関する認知度
- 2-8. 法政大学のSDGsサイト「法政大学 for SDGs」に関する認知度

### 3. 個人における現在および将来に関する質問

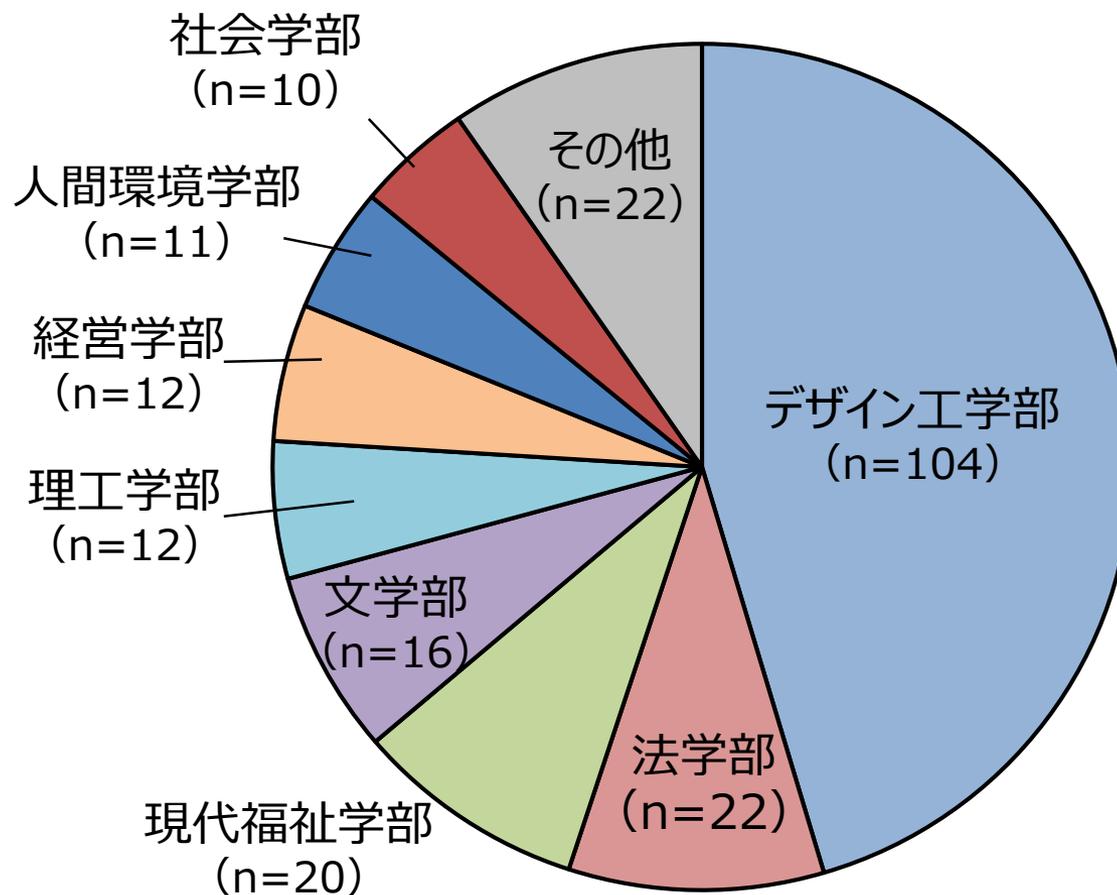
- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 3-1. 現在の私生活に対する満足度       | 3-5. 自発的学習の有無          |
| 3-2. 「社会とのつながり」に対する満足度   | 3-6. SDGsに関する取り組みの実施有無 |
| 3-3. 2030年までに達成したい目標の有無  | 3-7. 取り組みの内容と関連するゴール   |
| 3-4. 将来、達成に貢献したいSDGsのゴール |                        |



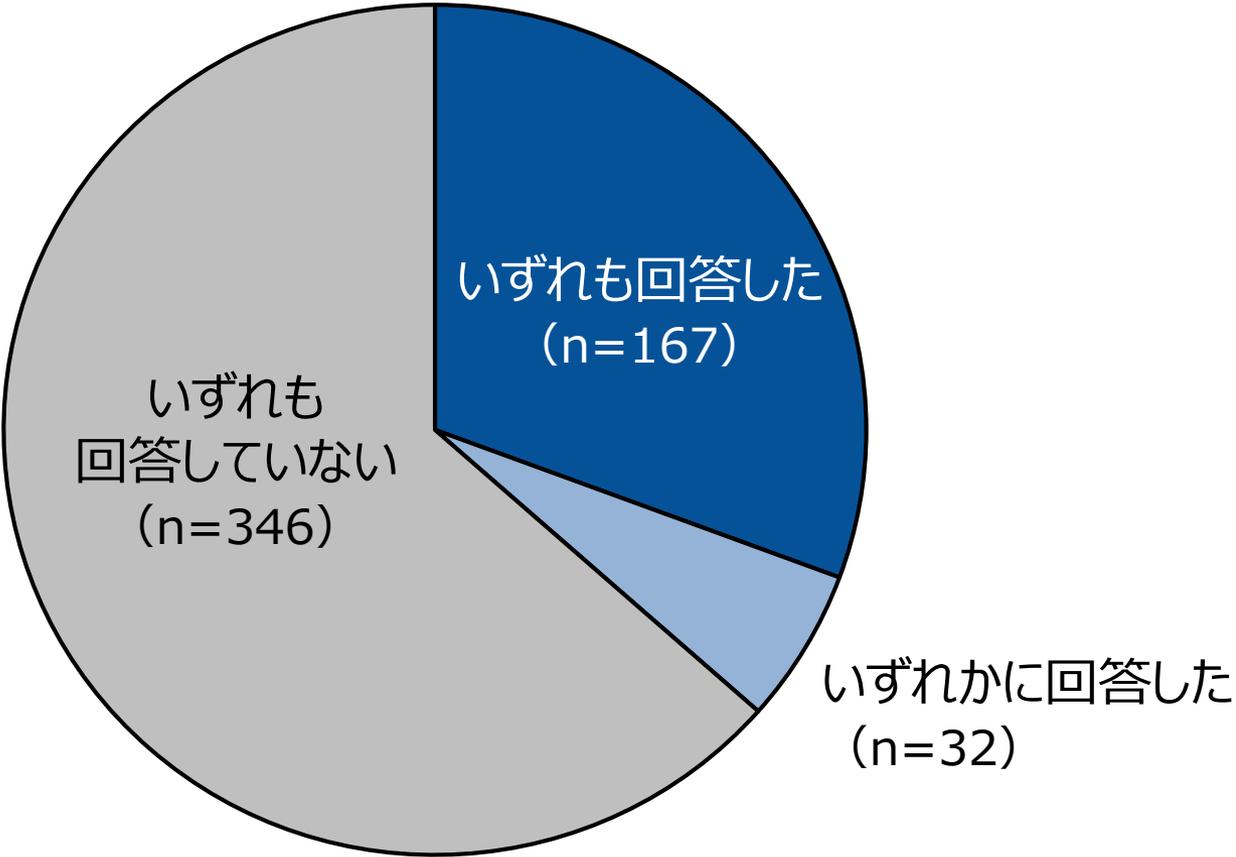
学生が全体の約半数を占めており、やや男性が多かった



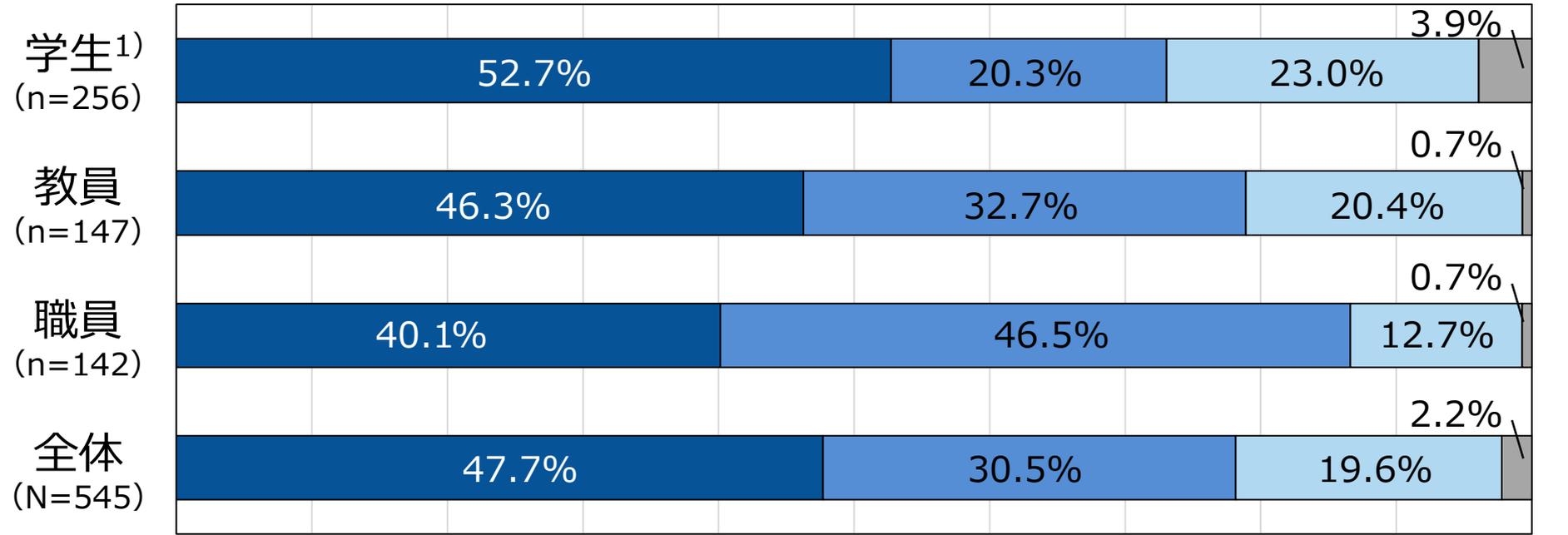
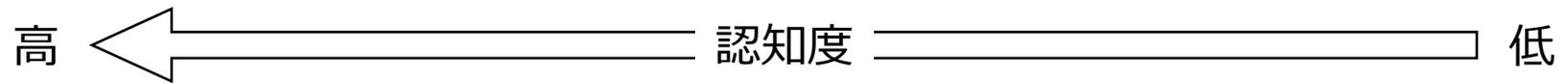
学生が多くを占めており、10代後半から20代前半に回答が集中している



多様な学部の学生から回答が得られた



3年連続で回答した人の割合が約30%を占めていた



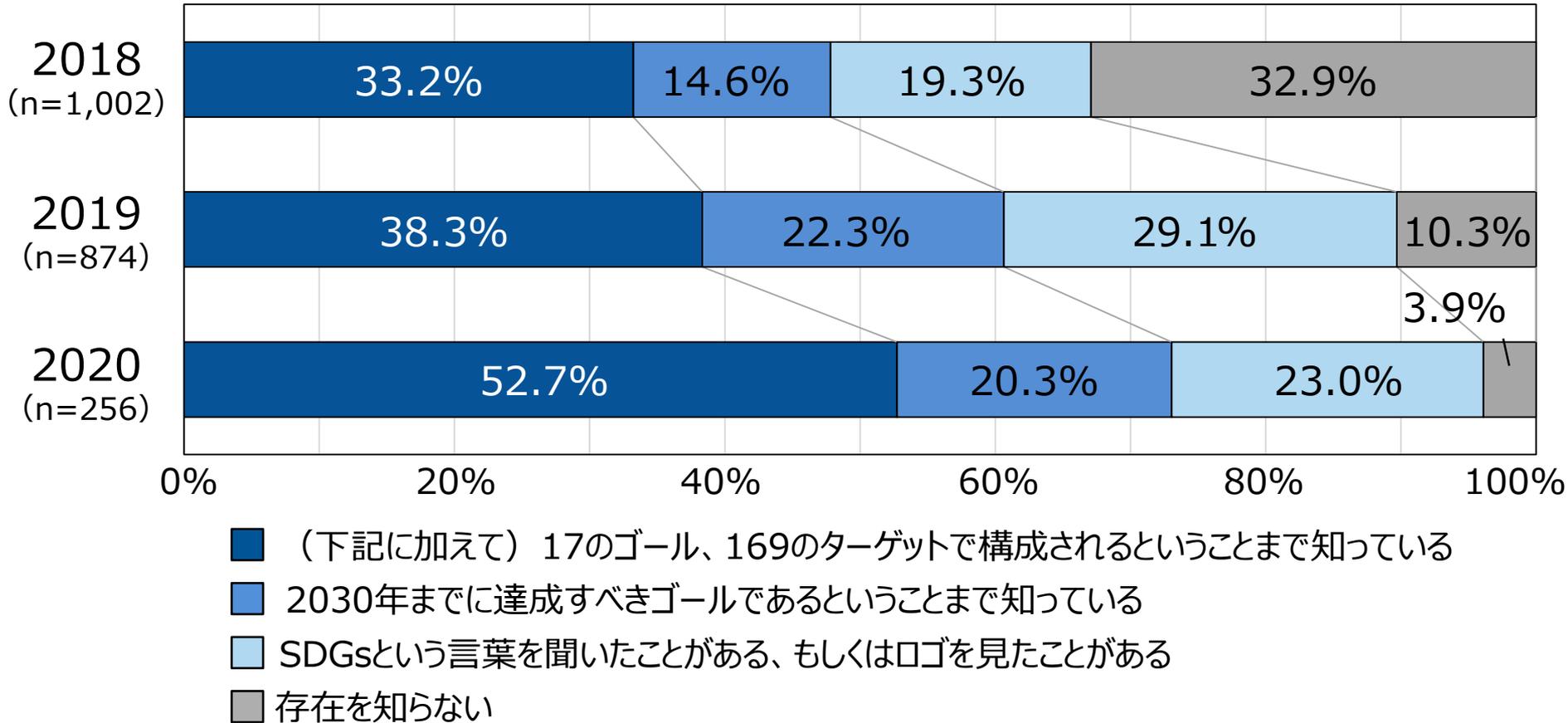
- (下記に加えて) 17のゴール、169のターゲットで構成されるということまで知っている
- 2030年までに達成すべきゴールであるということまで知っている
- SDGsという言葉聞いたことがある、もしくはロゴを見たことがある
- 存在を知らない

全体の95%以上がSDGsを認知している

1) 学部生と大学院生の合計

# 【過去調査との比較】 学生におけるSDGsの認知度

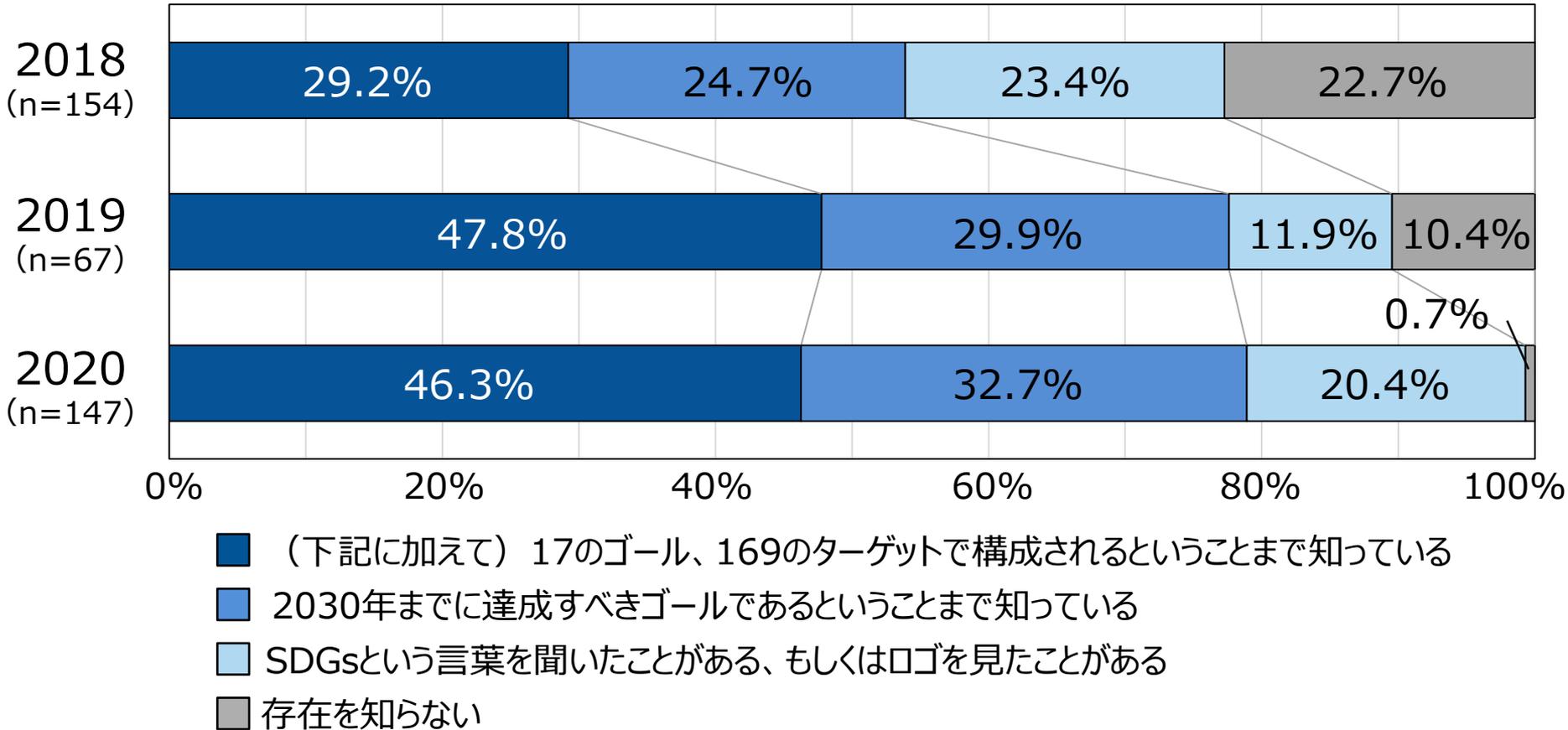
高 ← 認知度 → 低



「17のゴール、169のターゲットで…」と回答した学生が大きく増加し、昨年度・一昨年度と比較してSDGsの認知度がさらに向上した

# 【過去調査との比較】 教員におけるSDGsの認知度

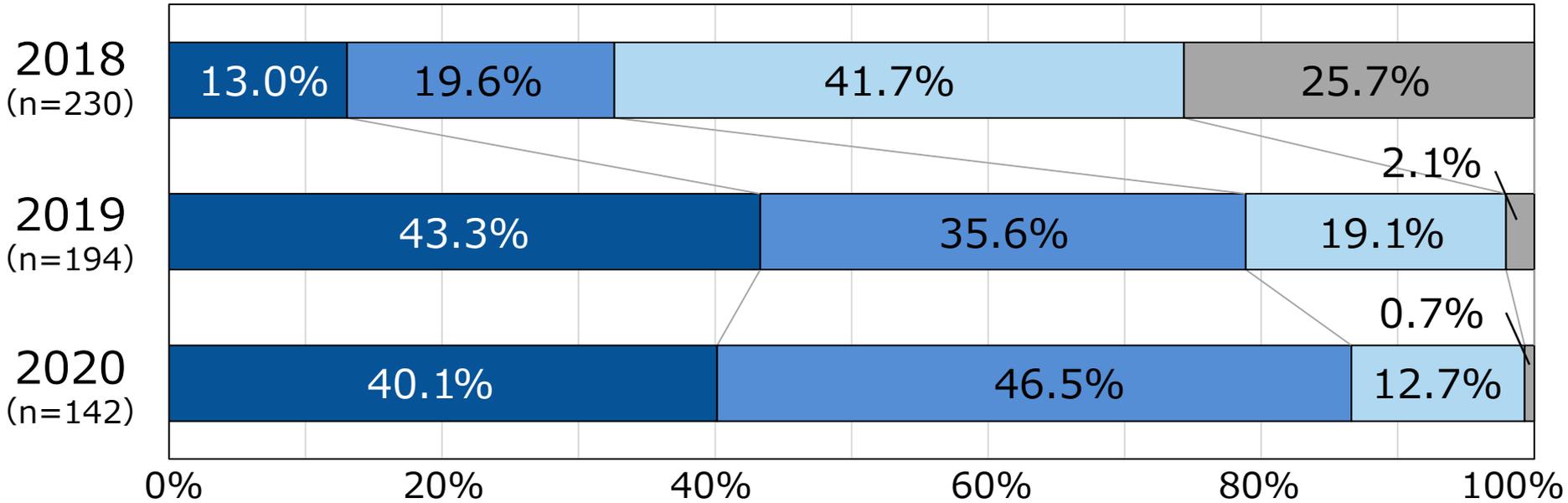
高 ← 認知度 → 低



昨年度・一昨年度と比較してSDGsの認知度が大きく向上し、  
認知度は概ね100%であった

# 【過去調査との比較】職員におけるSDGsの認知度

高 ← 認知度 → 低

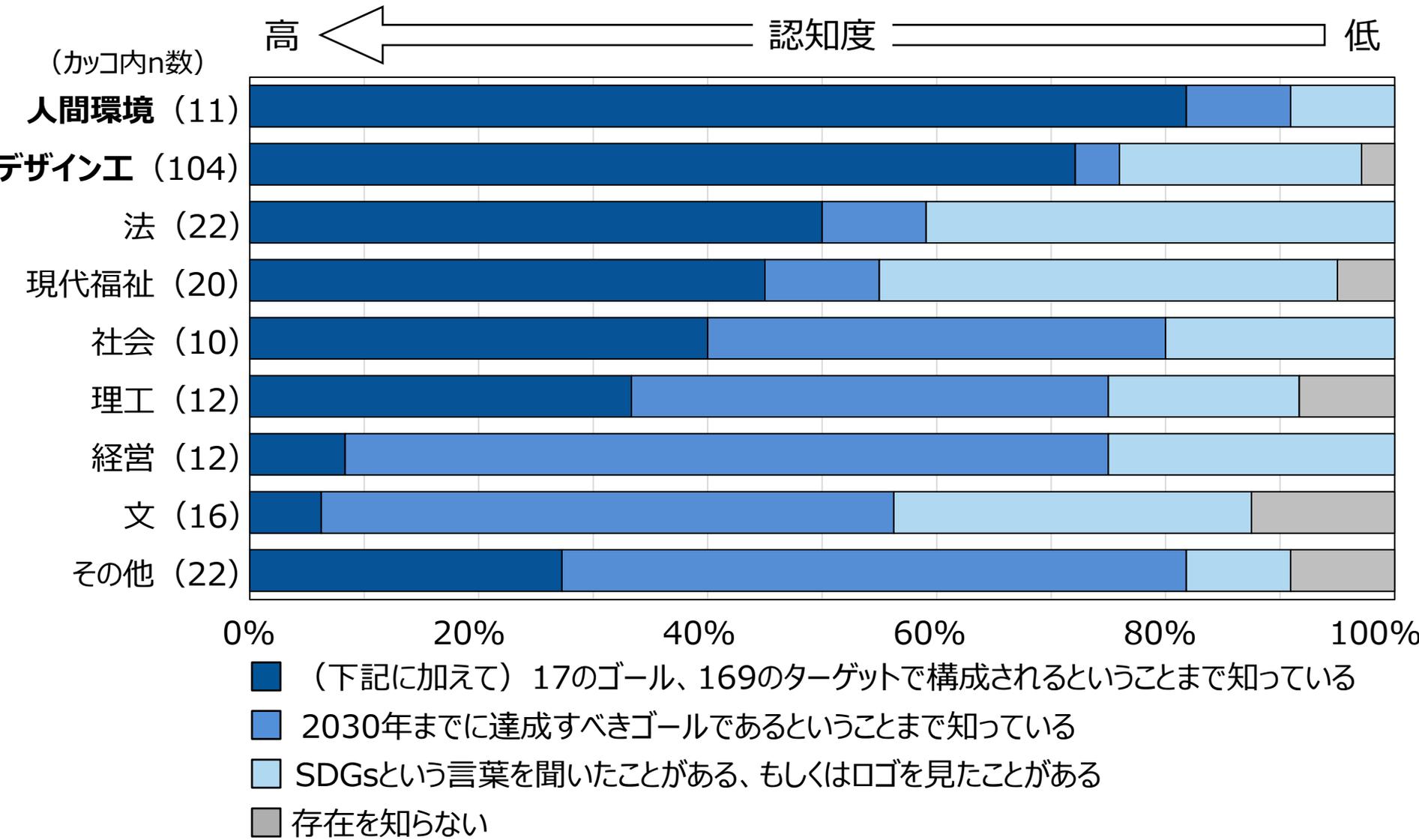


- (下記に加えて) 17のゴール、169のターゲットで構成されるということまで知っている
- 2030年までに達成すべきゴールであるということまで知っている
- SDGsという言葉聞いたことがある、もしくはロゴを見たことがある
- 存在を知らない

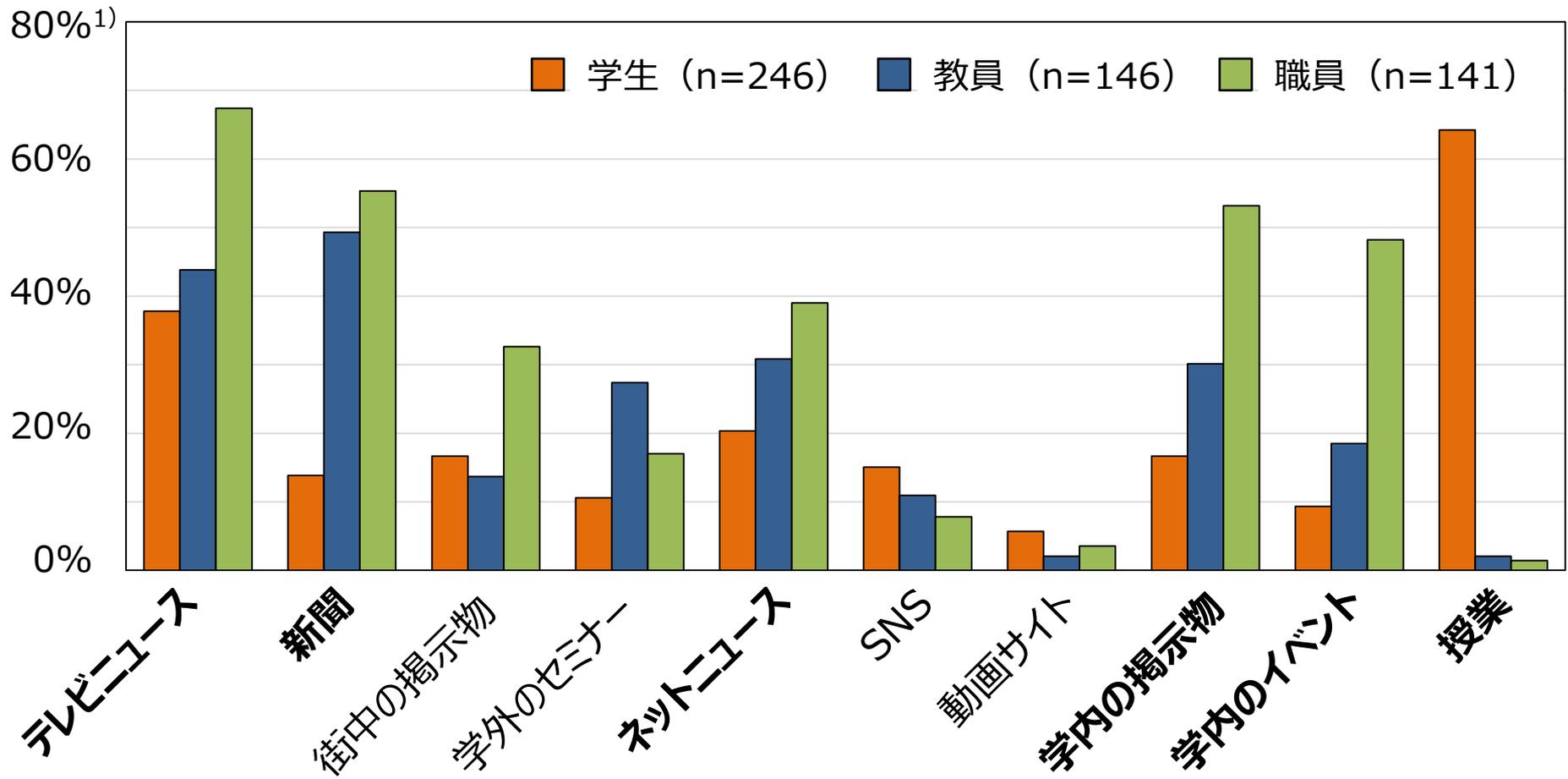
昨年度・一昨年度と比較してSDGsの認知度が向上し、  
認知度は概ね100%であった

# 各学部におけるSDGsの認知度（学部生のみ）

N=229



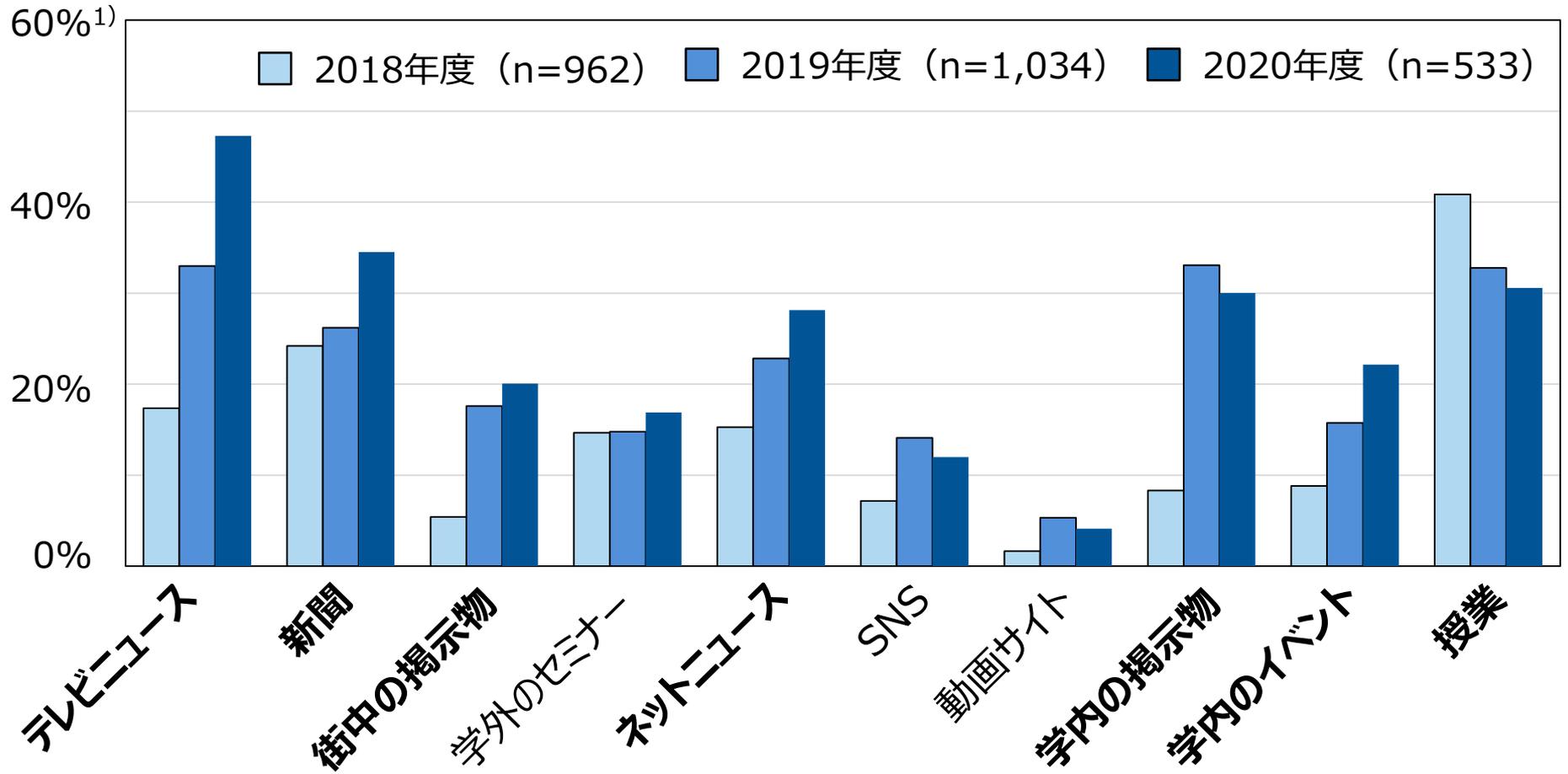
人間環境学部、デザイン工学部における認知度が高い



学生は授業やテレビニュース、  
教職員はマスメディアや学内活動からSDGsを認知する人が多い

1) 縦軸の値は、SDGsを認知している人のうち各方法でSDGsを認知した人の割合を示している

# 【過去調査との比較】SDGsの認知手段（複数回答あり）

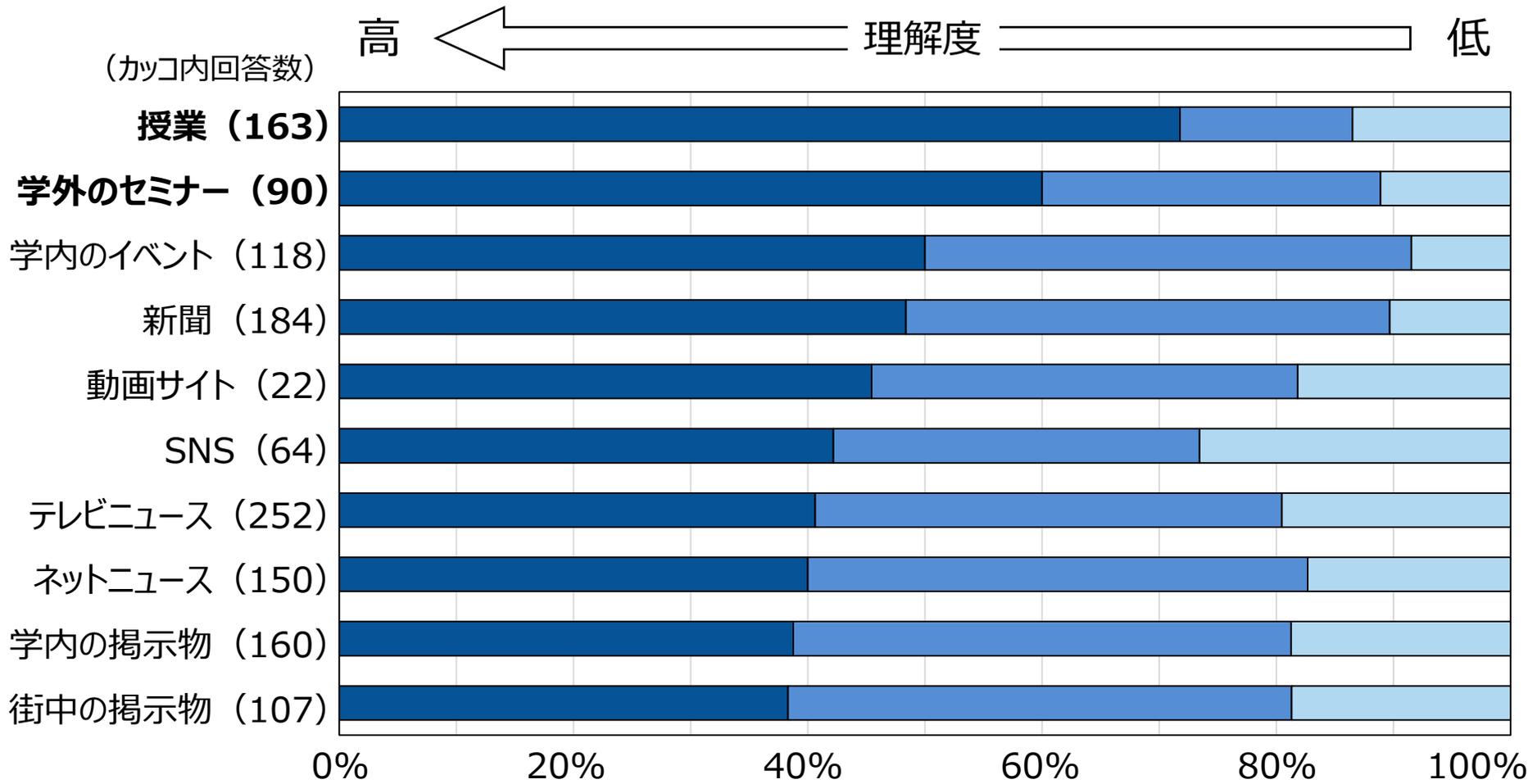


ニュースや新聞などのマスメディアや学内活動での露出が増加し  
認知手段が多様化した

1) 縦軸の値は、SDGsを認知している人のうち各方法でSDGsを認知した人の割合を示している

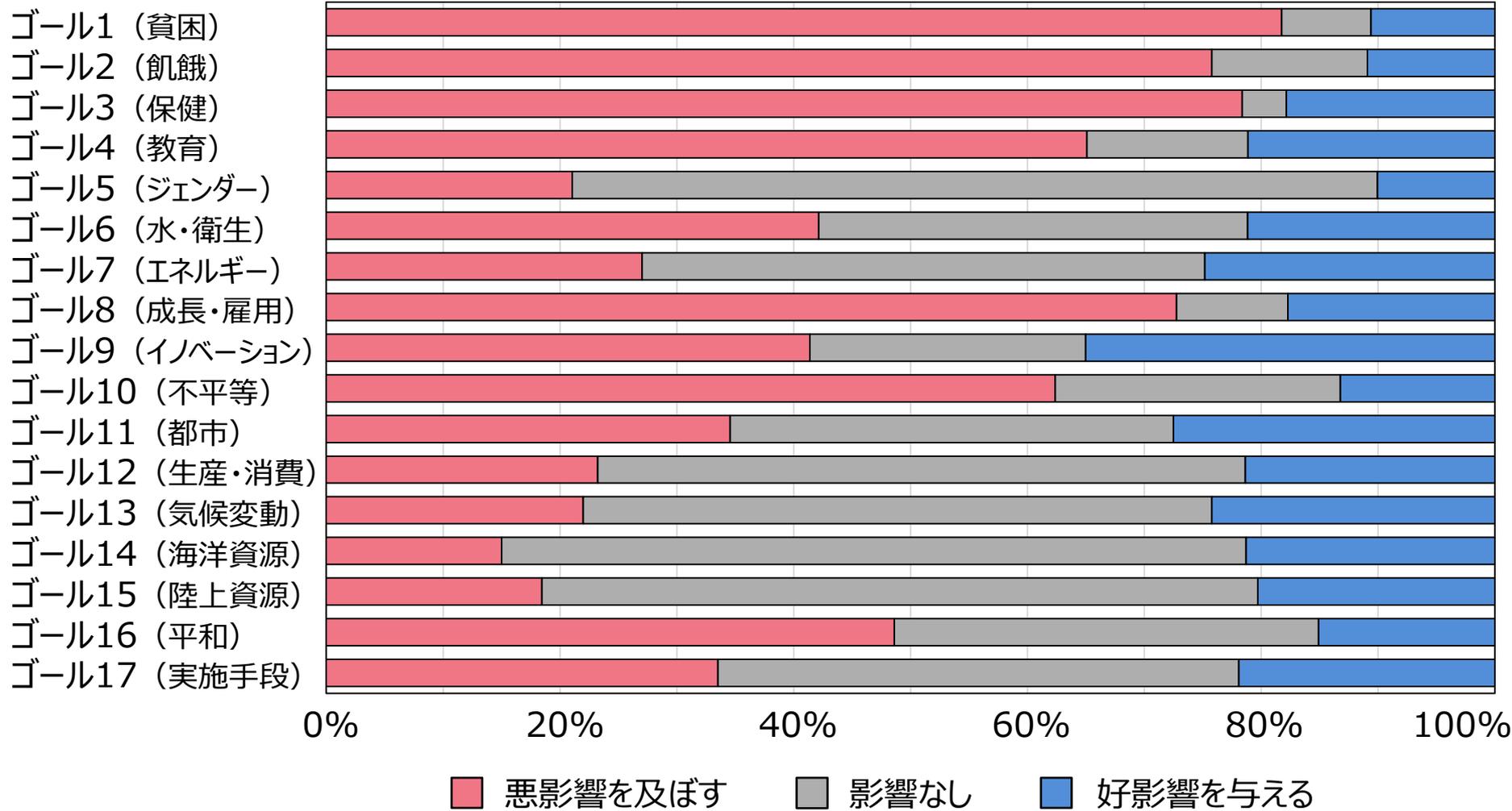
# 認知手段ごとのSDGsの理解度

N=533



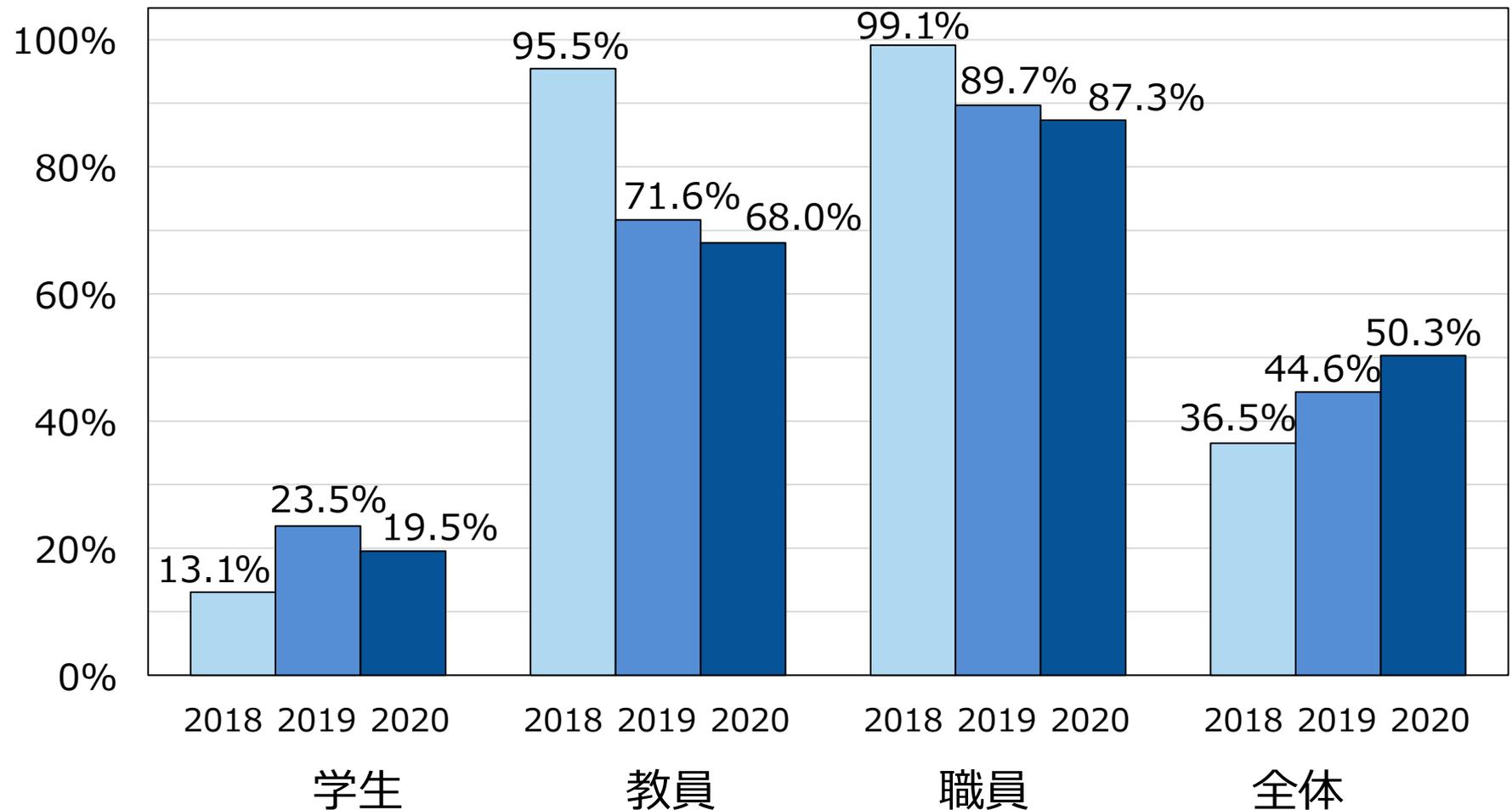
- (下記に加えて) 17のゴール、169のターゲットで構成されるということまで知っている
- 2030年までに達成すべきゴールであるということまで知っている
- SDGsという言葉聞いたことがある、もしくはロゴを見たことがある

授業やセミナーなどの講義形式で認知した人のSDGsの理解度が高い



「悪影響を及ぼす」と回答されたゴールが多い中、  
ゴール9 (イノベーション) にはある程度の好影響も与えるという認識であった

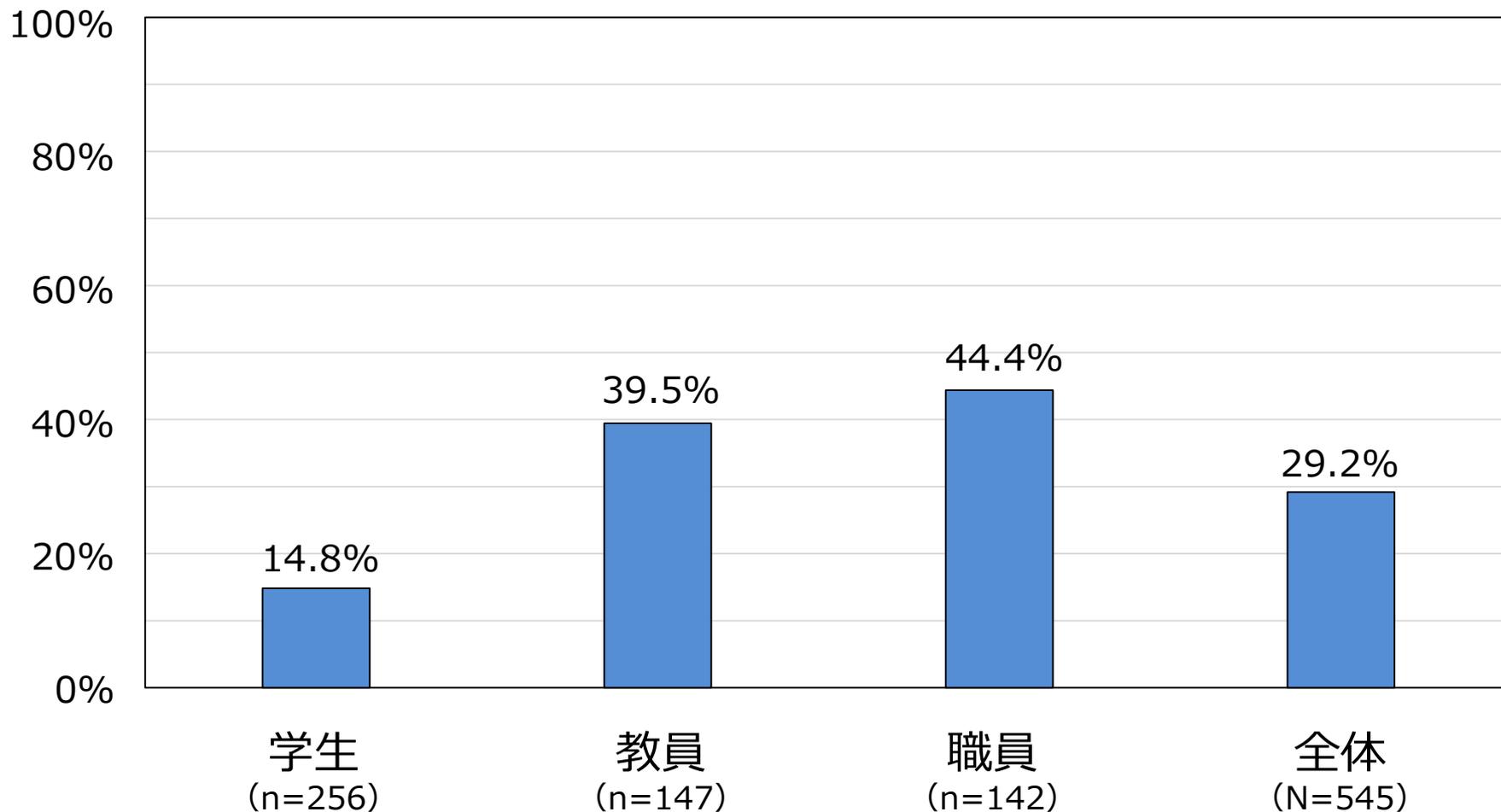
# 【過去調査との比較】SDGsステイトメント<sup>1)</sup>の認知度



学生、教職員ともに認知度が低下<sup>2)</sup>した

1) 法政大学総長によるSDGs達成に向けた教育推進の声明（参考：<https://www.hosei.ac.jp/sdgs/hosei/statement/>）

2) SDGsステイトメントは2018年12月に発表されたものであるため、回答者の記憶が薄れてしまっている可能性が考えられる

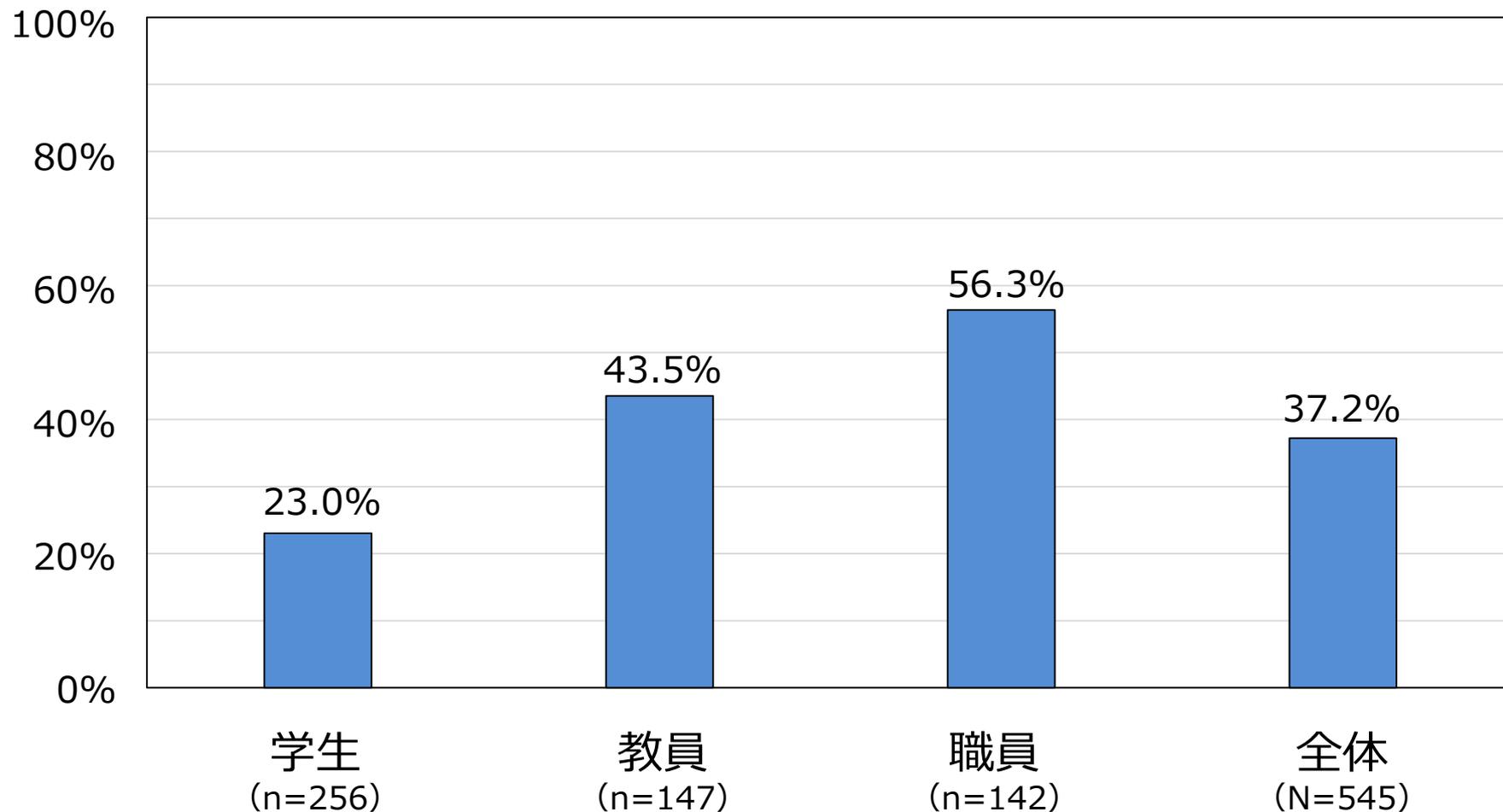


全体として認知度が低く、特に学生の認知度が極端に低い

⇒ さまざまな媒体を通じた周知の徹底が必要

1) 法政大学として2030年までに達成すべき目標、ターゲット、インディケータを定めた文書

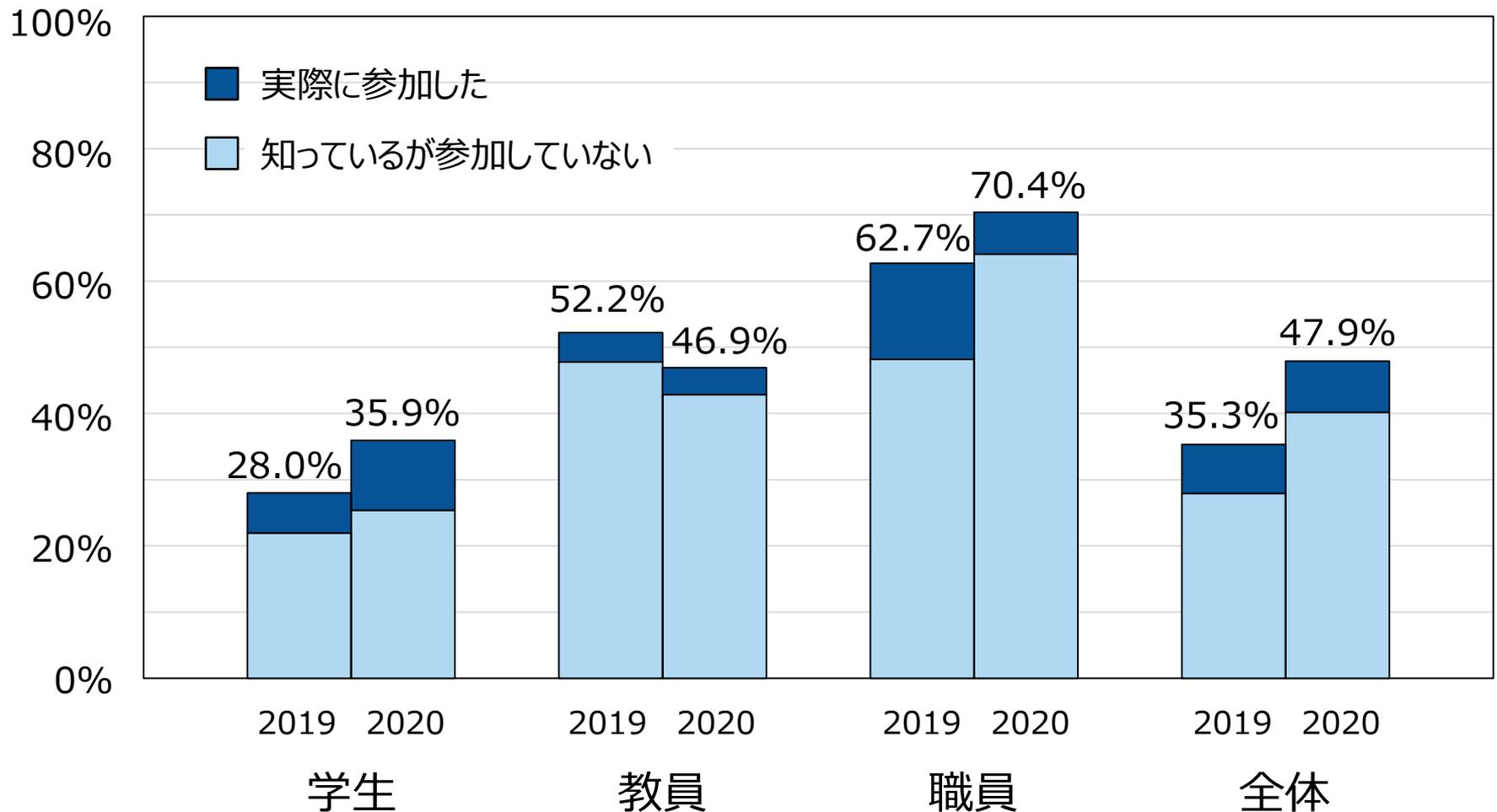
(参考: [https://www.hosei.ac.jp/application/files/3516/0645/8143/SDGs\\_2030\\_1120.pdf](https://www.hosei.ac.jp/application/files/3516/0645/8143/SDGs_2030_1120.pdf))



教職員の約半数が認知している一方で、学生の認知度が極端に低い  
 ⇨ 周知の徹底およびサイトを有効活用できる新機能の実装が必要

1) 法政大学におけるSDGs関連情報を取りまとめたポータルサイト (参考: <https://www.hosei.ac.jp/sdgs/>)

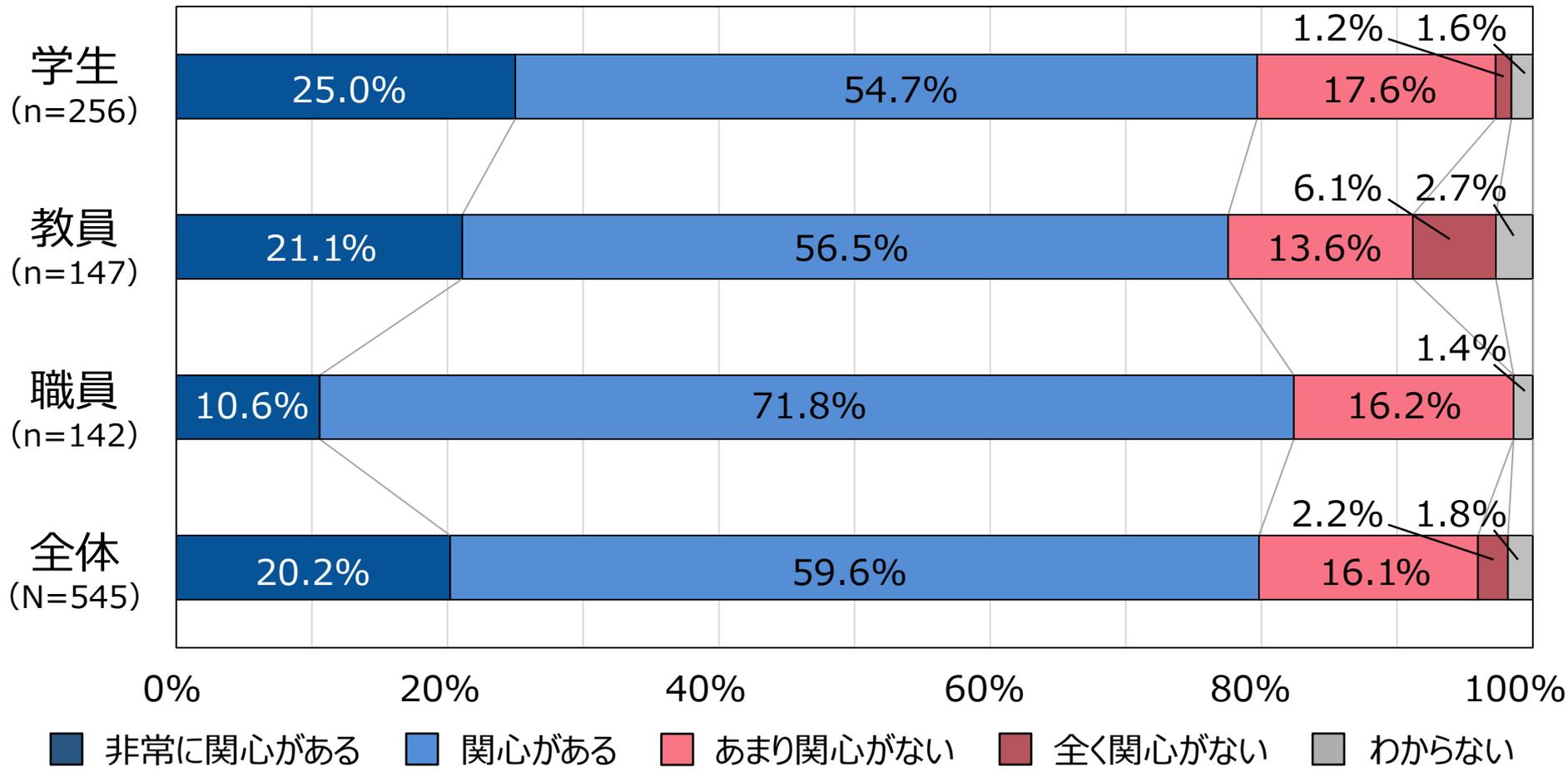
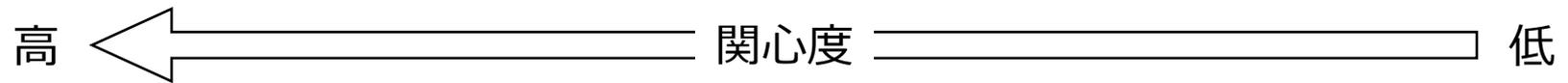
# 【昨年度との比較】HOSEI SDGs WEEK<sup>1)</sup> の認知度



学生・職員の着実な認知の向上が確認された

1) 法政大学市ヶ谷キャンパスで開催されたSDGsに関するイベント

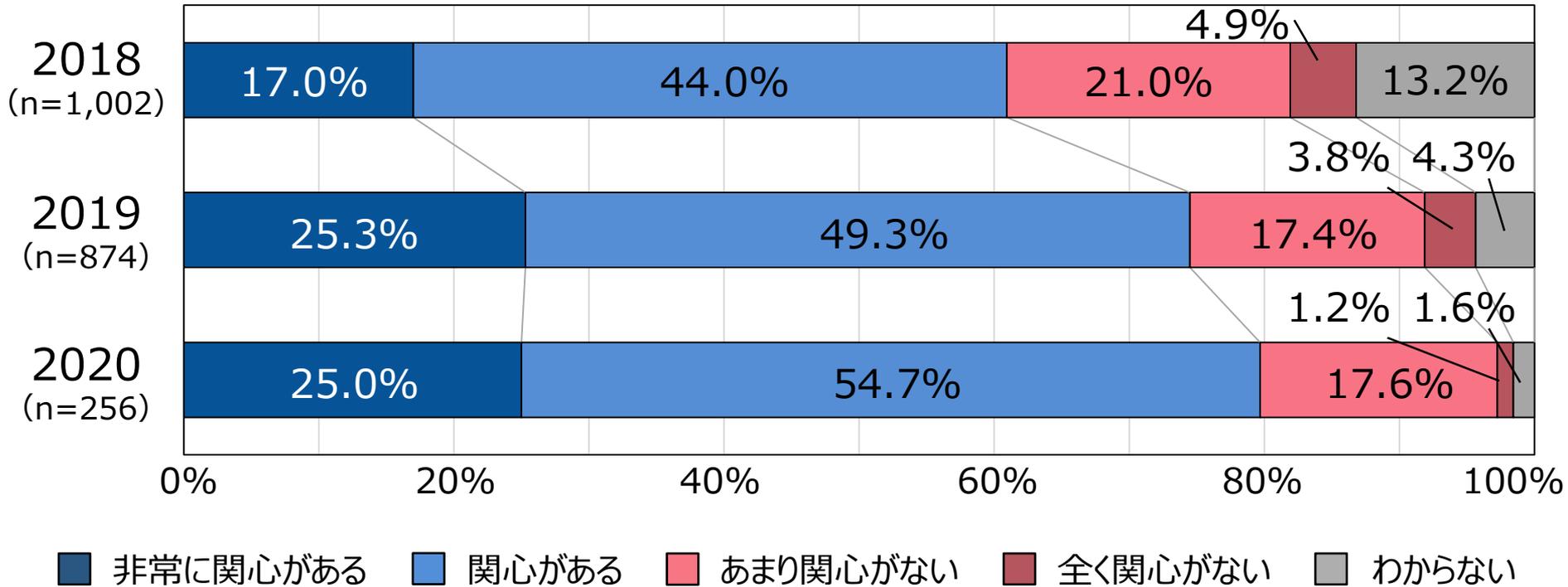
(参考: <https://www.hosei.ac.jp/sdgs/info/article-20210114131103/>)



SDGsに関心を持つ人の割合は総じて80%ほどであった

# 【過去調査との比較】 学生におけるSDGsの関心度

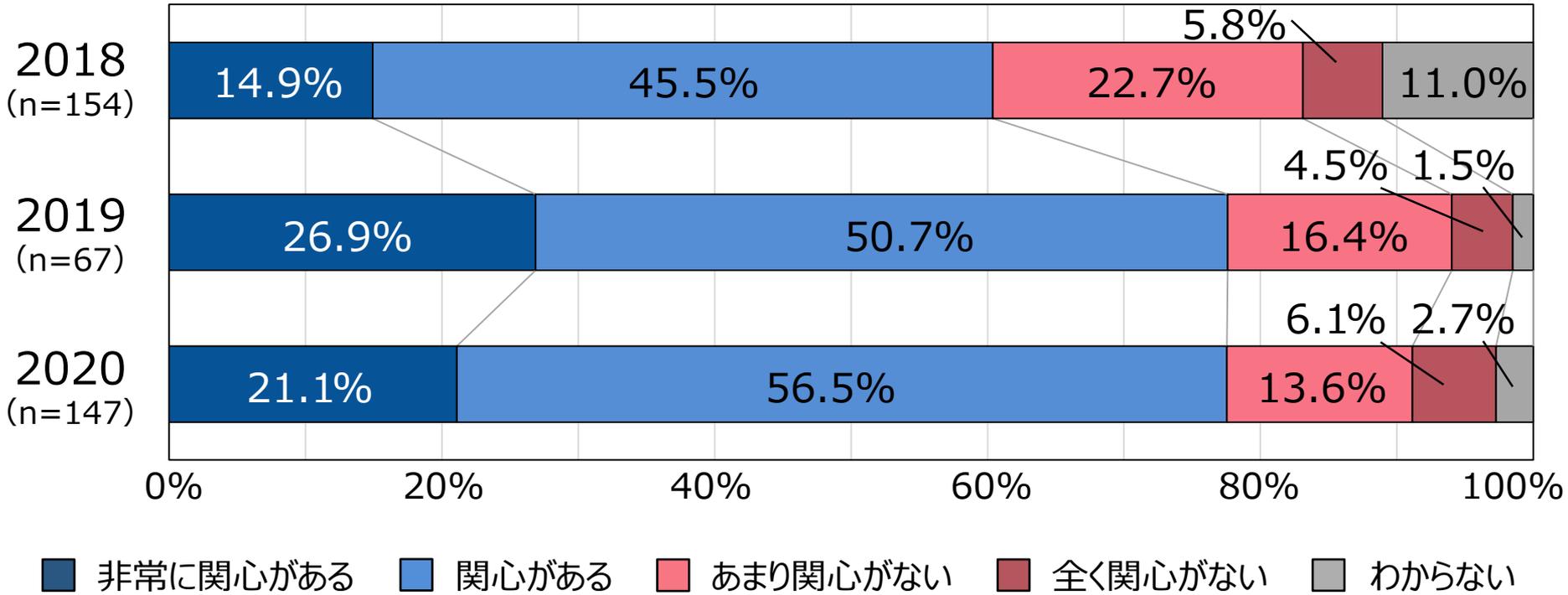
高 ← 関心度 → 低



「全く興味がない」「わからない」と回答した学生の割合が減少し、  
学生の関心度が増加した

# 【過去調査との比較】 教員におけるSDGsの関心度

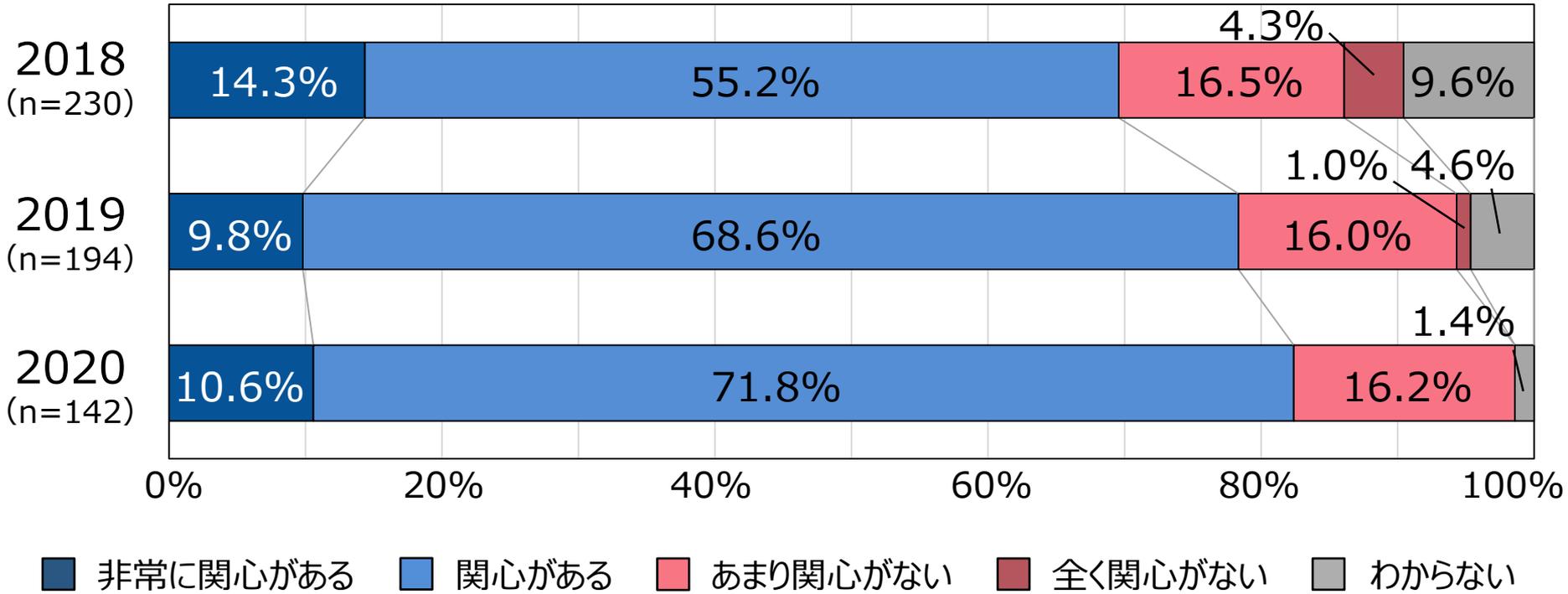
高 ← 関心度 → 低



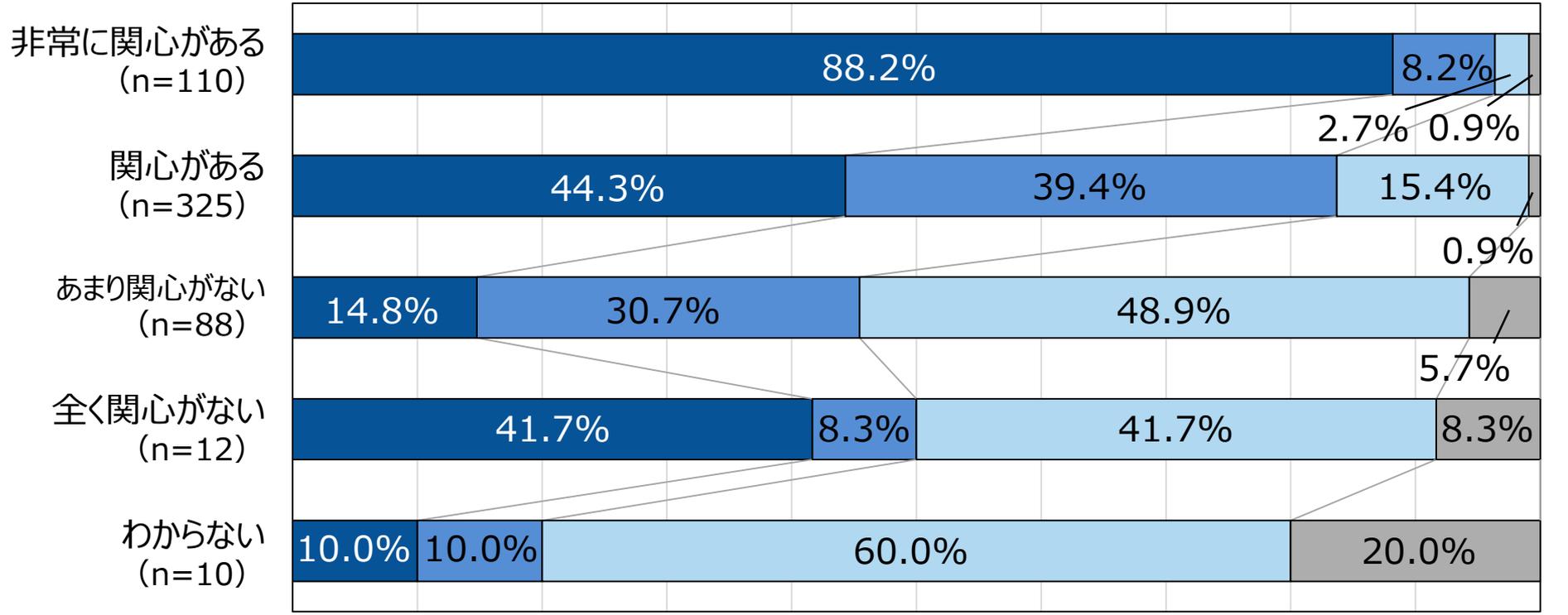
教員においてはSDGsの関心度が横ばいあるいはやや減少した

# 【過去調査との比較】職員におけるSDGsの関心度

高 ← 関心度 → 低



「関心がない」「わからない」と回答した職員の割合が減少し、職員においても学生と同様に関心度が増加した

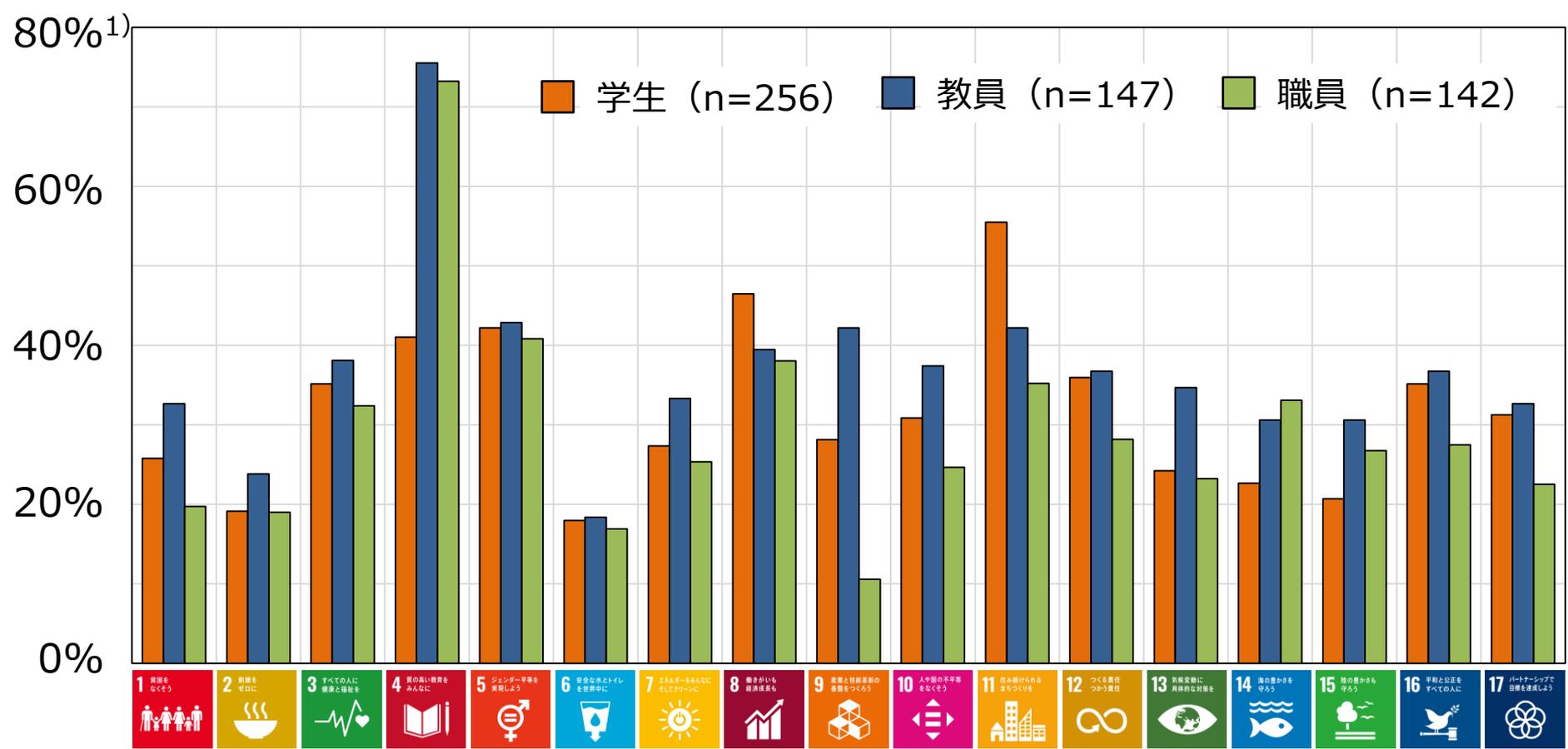


- （下記に加えて）17のゴール、169のターゲットで構成されるということまで知っている
- 2030年までに達成すべきゴールであるということまで知っている
- SDGsという言葉聞いたことがある、もしくはロゴを見たことがある
- 存在を知らない

⇒ SDGsに興味がある人ほど、SDGsをより深く理解している模様<sup>1)</sup>

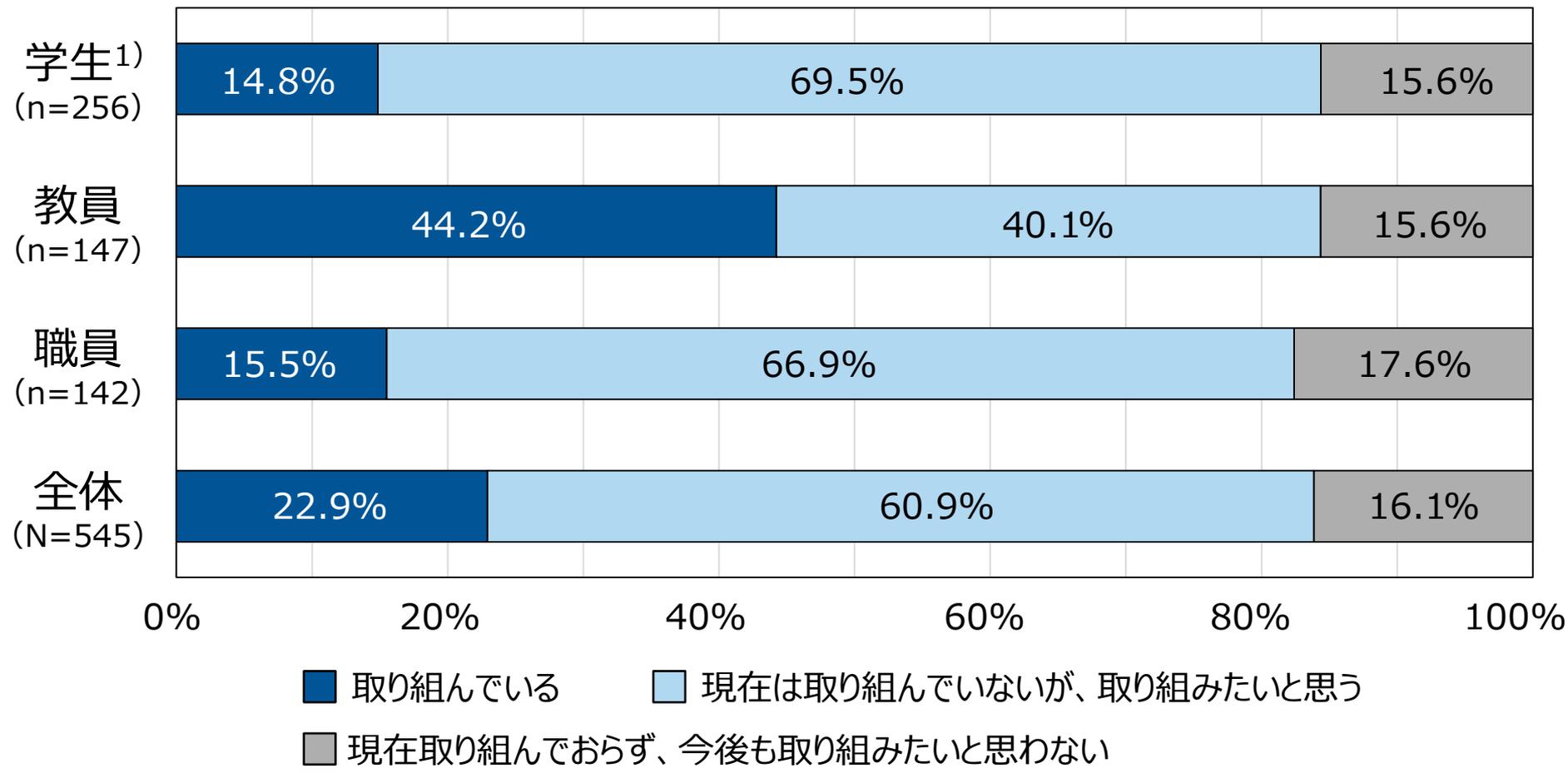
1) 「全く興味がない」と回答した人が極端に少ないため、一部傾向と異なる結果がみられた可能性がある

# 今後達成に向けて貢献したいSDGsのゴール（複数回答あり） N=545



学生はSDGsの様々なゴールに幅広く関心を示す一方で、  
教職員はゴール4（教育）の関心度が顕著に高い

1) 縦軸の値は、各属性の対象者のうち各ゴールに貢献したいと回答した人の割合を示している

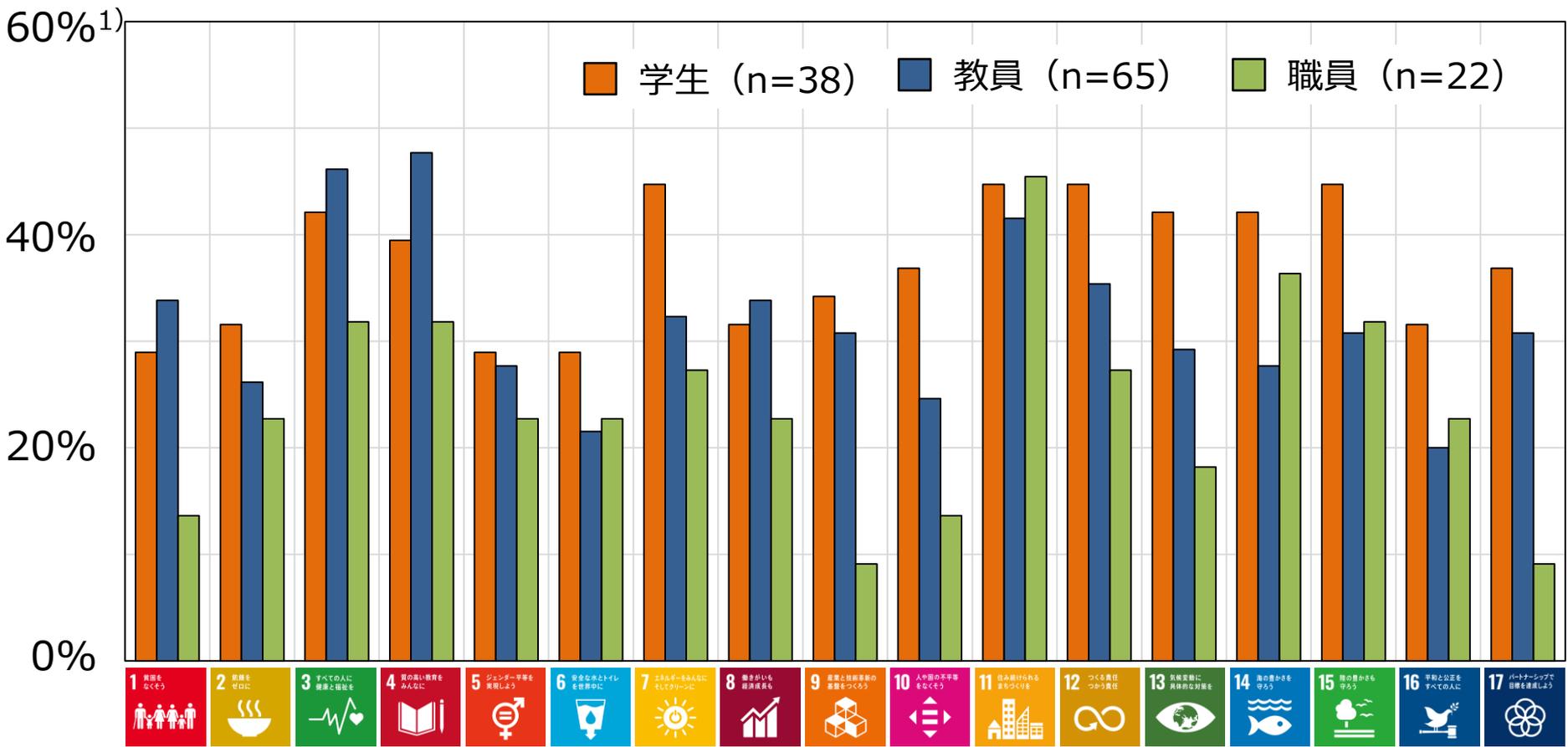


全体の80%以上がSDGs達成に向けた取り組みに関心を示している  
⇒ 今後もSDGsに関するイベントや取り組み支援を継続する必要性がある

1) 学部生と大学院生の合計

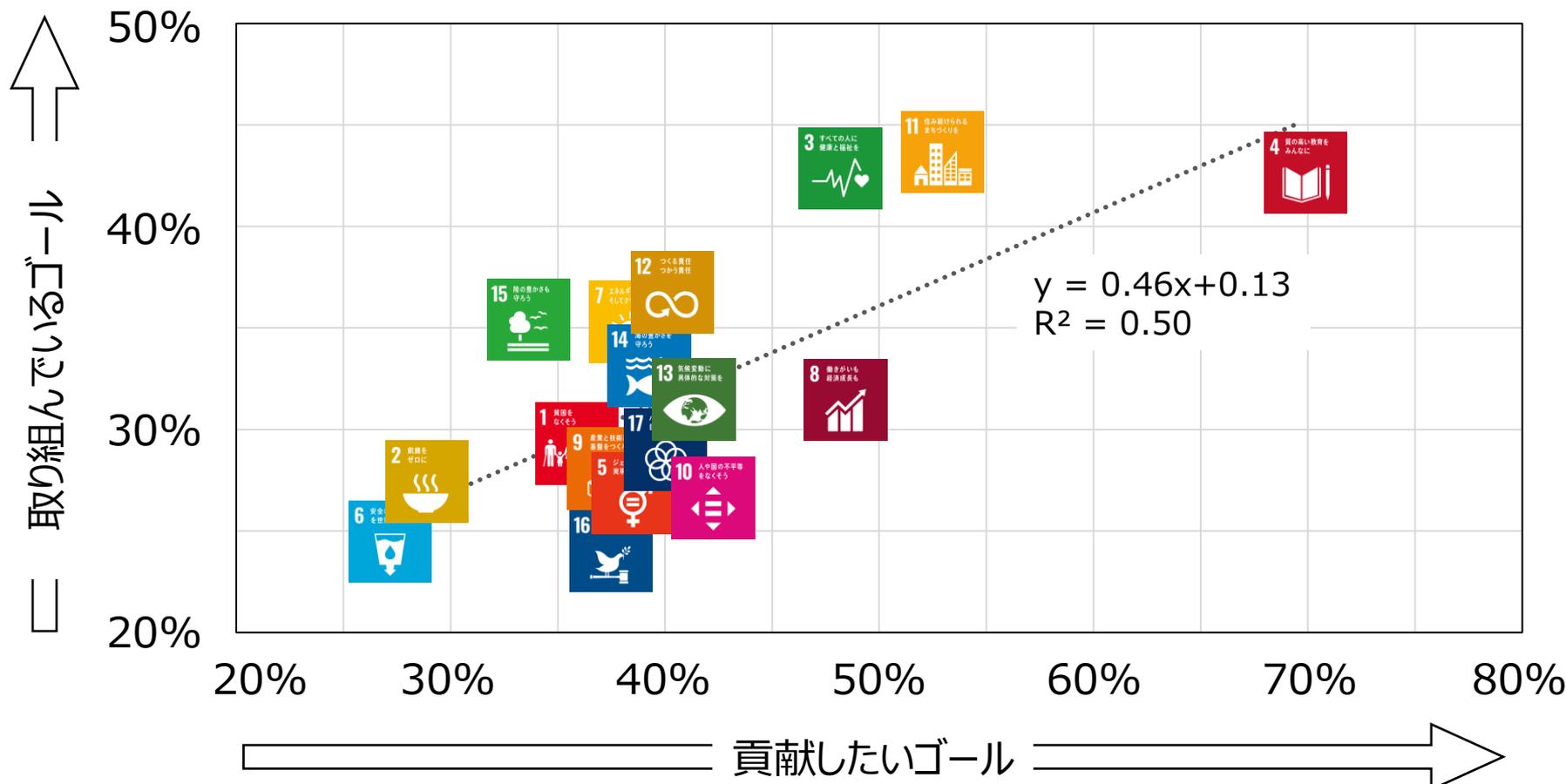
# 自身の取り組みに関連するSDGsのゴール（複数回答あり）

N=125

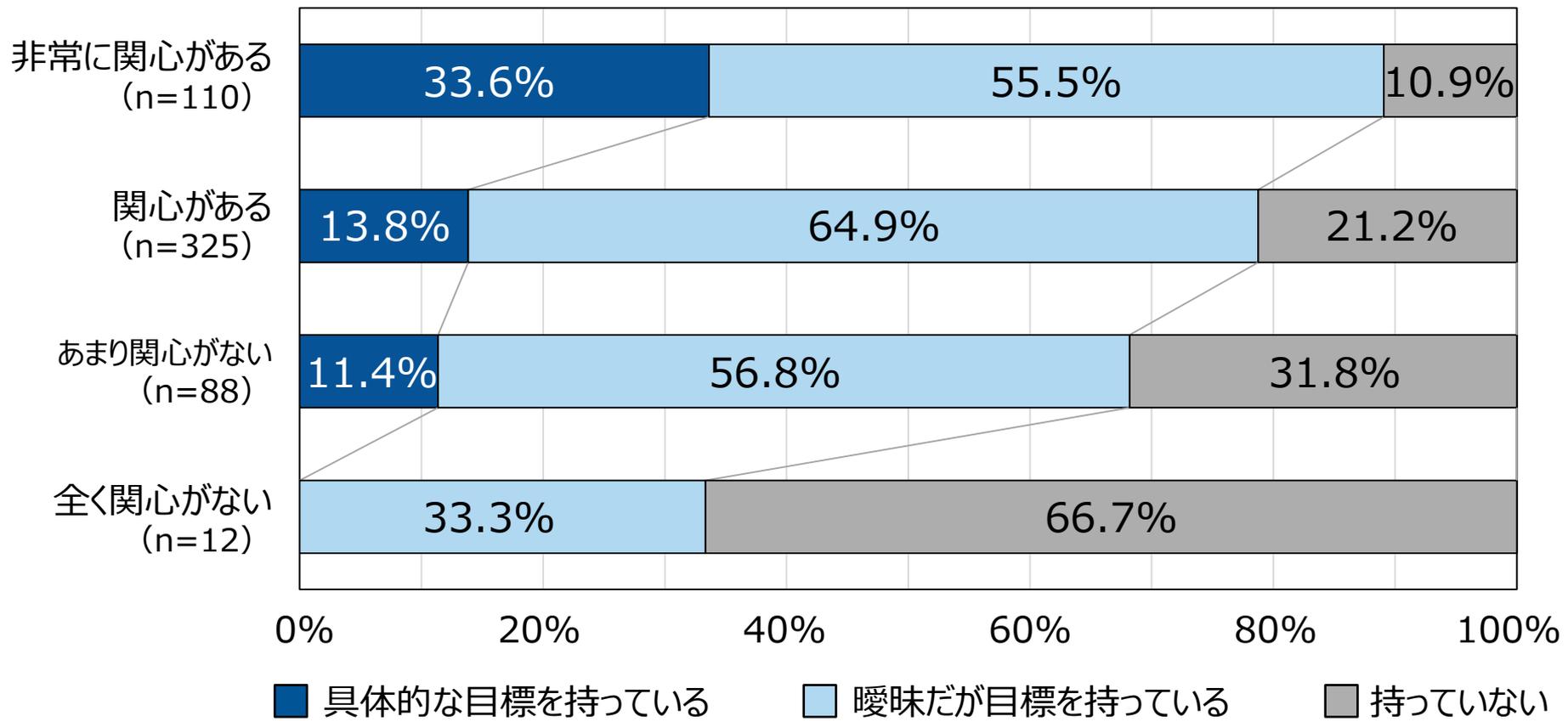


多少のばらつきはあるものの、満遍なく全てのゴールが取り組まれている

1) 縦軸の値は、各属性の対象者のうち各ゴールに取り組んでいる人の割合を示している



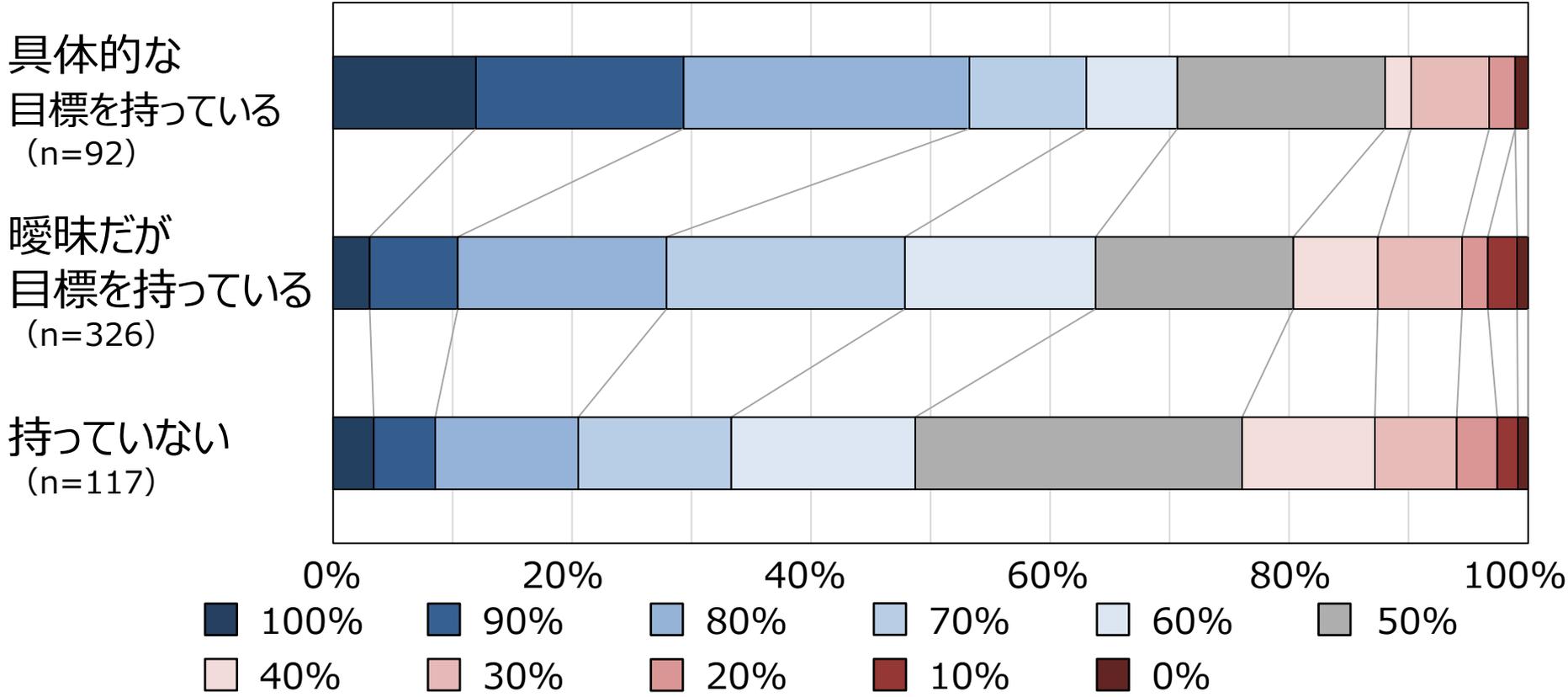
貢献したいと思っているゴールほど、  
 実際に取り組みに移行されている傾向が示唆された



SDGsに関心を持つ人ほど  
 将来に向けて具体的な目標を持っている傾向が見られた

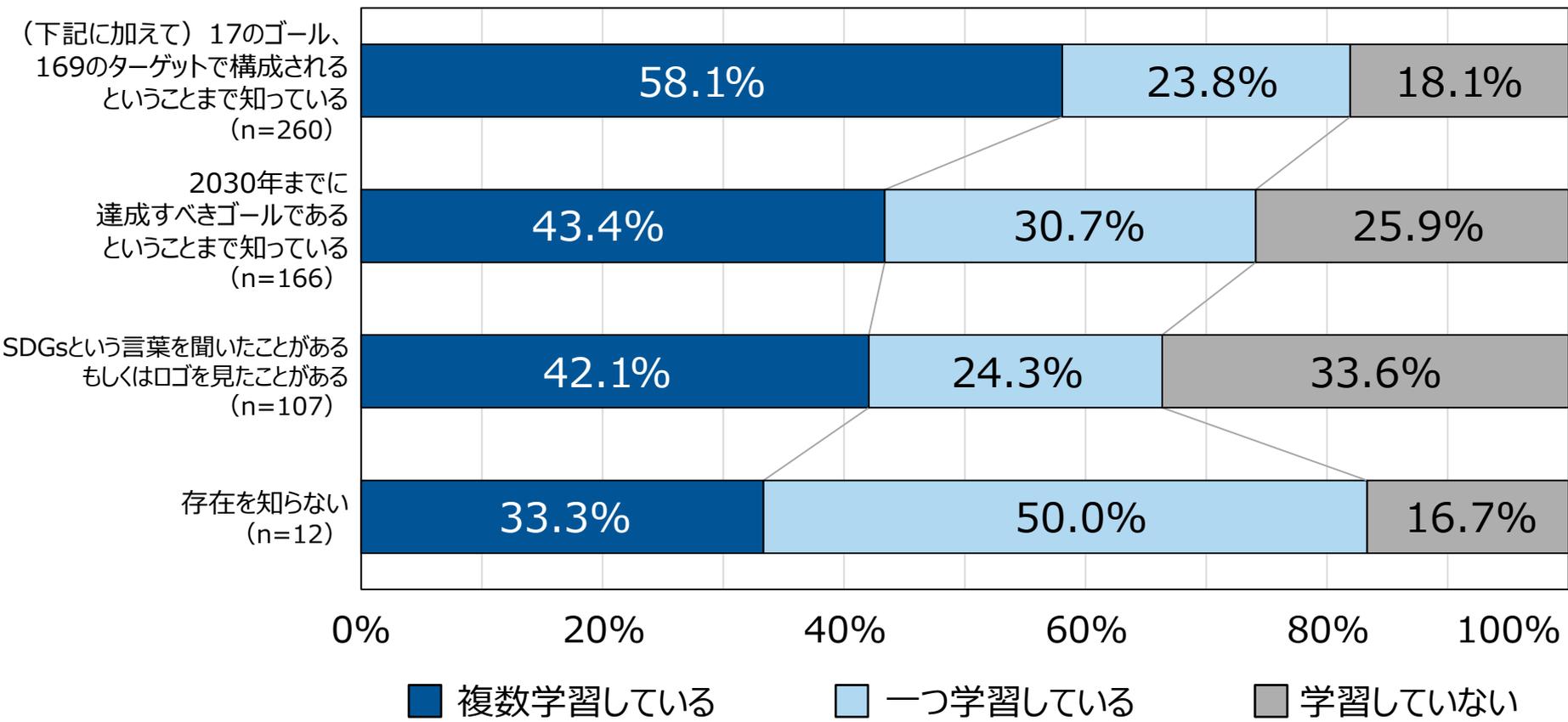
1) 「SDGsについてどの程度ご関心がありますか」の設問に対し、「わからない」と回答した対象者 (n=10) は分析対象外とした  
 2) 本項目は、「十年後の2030年までに達成したい目標はありますか？」という設問に対し、「具体的な目標を持っている」「曖昧だが目標を持っている」「持っていない」のいずれかで回答する形式である。なお、目標のスケールや対象等は制限していない。

高 ← 「社会との繋がり」に関する満足度 → 低



将来に向けて具体的な目標を持つ人ほど社会的満足度が高まる傾向  
 ⇨ (前頁の結果と合わせて) SDGsに関心を持つことが  
 パートナーシップに基づく目標設定を促進させる可能性

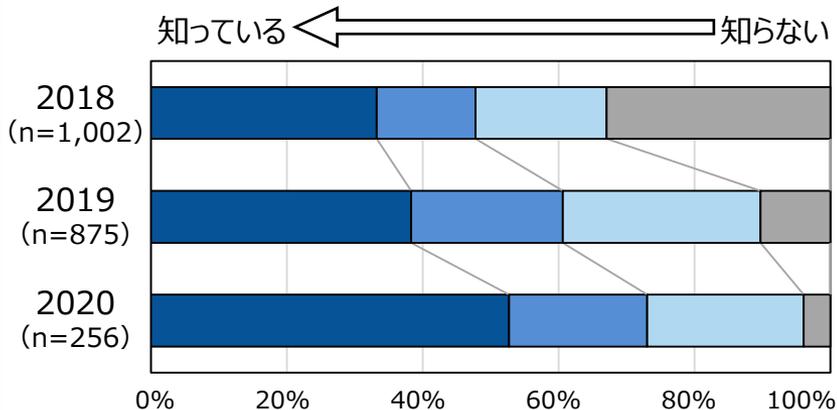
1) 「SDGsについてどの程度ご関心がありますか」の設問に対し、「わからない」と回答した対象者 (n=10) は分析対象外とした  
 2) 本項目は、「交友関係やコミュニティなどにおける『社会との繋がり』に対する満足度をお答えください。」という設問に対し、0点から100点の11段階で回答する形式である。



SDGsを認知することが  
多分野に興味を持ち、複数の自発的学習を促進する可能性が示された

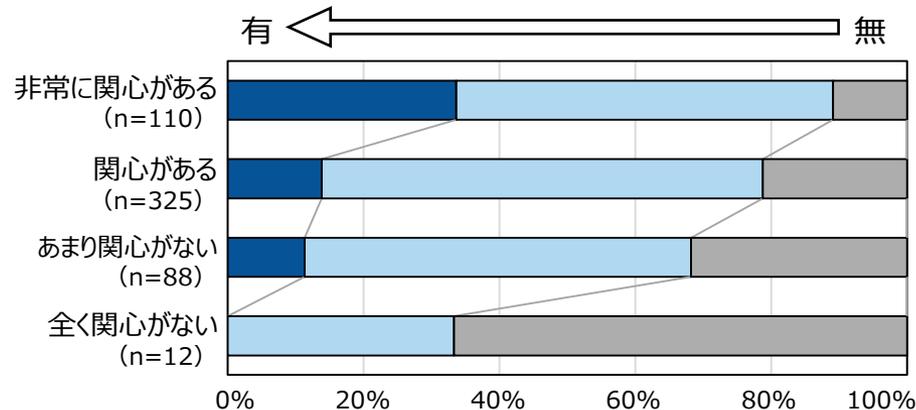
1) 本項目は、「自発的に学習していることはありますか（趣味や娯楽を含め）。」という設問に対し、「複数個ある」「一つある」「ない」のいずれかで回答する形式である。なお、学習内容のスケールや対象等は制限していない。

## 〈SDGsの認知度（学生）〉



- 17のゴール、169のターゲットで構成されるということまで知っている
- 2030年までに達成すべきゴールであるということまで知っている
- SDGsという言葉聞いたことがある、もしくはロゴを見たことがある
- 存在を知らない

## 〈SDGsの関心度と将来の目標有無〉



- 具体的な目標を持っている
- 曖昧だが目標を持っている
- 持っていない

- ・ 昨年度や一昨年度に比べ、SDGsの認知度および関心度がさらに向上
- ・ SDGsに関心を持つ人ほど、将来に向けた具体的な目標を持つ傾向  
また、将来の目標を持つ人ほど、「社会との繋がり」に関する満足度が高い傾向
- ・ 今後もフォローアップ調査の実施とSDGs達成に向けた継続的な取組が必要